

市民意見等の聴取結果

「10年後の長野市の姿」アイデア募集	1
市民まちづくり意見交換会【市長とまちかどトーク】	3
児童・生徒・学生まちづくり意見交換会	
【市長と話そう～長野の未来～】	15
各種団体からの意見募集	31
包括連携協定高等教育機関連携協議会との懇談会	37
ふるさとNAGANO応援団からの提案募集	39

「10年後の長野市の姿」提案募集について

1 募集方法

広報紙の特集記事を活用して人口推計をグラフで示し、広く市民を対象に提案を募集したもの

2 募集期間

平成27年6月1日から6月26日まで

3 提案件数

21提案(10人)

4 提案内容(抜粋)

番号	提案タイトル・分野	内容
1	【保健・福祉】	核家族化が進んだ現代社会においては、地域コミュニティ全体で、犯罪防止にも寄与する、子供と高齢者との触れ合う機会を、様々なレベルでもっともっと増やして頂きたいと思います。
2	【保健・福祉】	障害者に対しても優しい長野市になればいいなと思います。
3	【保健・福祉】	◎健康 ○精神的な側面(心の健康) ○肉体的な面(体の健康)
4	【環境】	水エネルギーの有効活用の先頭に立つ都市になることが望まれます。 長野市が一元管理して、腐葉土を生成して、他の自治体や、市内の農家に安価で提供出来るようなシステムを構築すべきと存じます。
5	<存在力>ある長野市へ、サステナブル都市の創造【環境】	環境問題に対しては先進国である日本が先んじてこの取り組んでいく必要があります。しかしながら先進国である日本でもこの問題に具体的に取り組んでいる自治体は少ないように思います。これからのあるべき姿として長野市がサステナブル(持続可能な社会の実現に向けた取り組み)都市のモデルとして全国から注目を集める存在となることを期待します。
6	<存在力>ある長野市へ、サステナブル都市の創造【環境】	長野市内には一定基準を満たした環境に配慮した店舗しか入れない仕組みづくり。
7	<存在力>ある長野市へ、サステナブル都市の創造【環境】	下水処理後の汚泥を発酵させて生産したバイオガスを、家庭用カズレンジや乗用車の燃料として再利用する。エネルギーイノベーションを起こす。
8	【教育・文化】	文化面において、特に芸術面において、我が国固有の文化芸術の発展と、海外文化との融和を計りつつ、個性溢れる町づくりは素晴らしいと思います。
9	【産業・経済】	◎雇用 若い人にも年を取った人にも平等にチャンスが与えられること。雇用が確保されている社会。頑張った人が報われる社会になればいい。
10	観光シャトルバスの通年運行による観光都市【経済・産業】	長野市には善光寺、戸隠神社をはじめ松代城址、象山地下壕等の史跡、並びに自然公園、温泉、美術館など多くの観光資源があります。北陸新幹線も金沢まで延伸され、近い将来には福井、敦賀まで延伸される予定です。 このため長野駅を起点として戸隠方面と松代方面にそれぞれ観光シャトルバスを次のとおり通年運行することを提案します。

番号	提案タイトル・分野	内容
11	コンパクトシティの推進 【都市整備・土地利用】	長野市は政策によっては定住人口の増加へのチャンスが来ています 空気がきれいでお天気が良い これ程住むのに適したところはありません 但しあとは働く所を増やすことですね①企業誘致 ②中心市街地に 住みやすい環境作り 何とかならないでしょうか。
12	【都市整備・都市整備】	20年・30年後の長野市の姿は 鉄道を高架(雪害対策)で複数の環 状線を走らせる事です。 生活に観光に 地方都市の良い所を十分 発揮してください!
13	信都のソフトな未来像 【都市整備・土地利用】	JRより西の地域は旧市街地であり、街の大手術が必要...。特に 善光寺は国宝で文化遺産でもあるので、この特性をフルに活用するこ とである。特に商業を取り巻く環境に振り回されることのないよう、古いも のを存続する手法で対応すれば、手段は幾らでもある筈だ。西方の山 岳地域を巧く巻き込めばなお一層の効果が望める→手法/保存+改 造+空間創出
14	信都のソフトな未来像 【都市整備・土地利用】	犀川を挟み北部と南部の存在的隔たりを無くす。長野大橋は通過交 通が役目であり、丹波島橋と小市橋は南北を結ぶ生活道路であるが、 これは未だに旧R18の名残があって生活路線とはいい難くバラバラ感 がある。この際JR長野駅から日赤方面へ開通した路線を延長して「犀 川新橋-仮称」を架橋し、南北両地域の暮らしの効率化促進を図る必 要がある→手法/インフラの整備+環境改善+近代化への拍車
15	信都のソフトな未来像 【都市整備・土地利用】	ゾーンを見直し、整理明確化する。千曲川沿いを農業促進地域に、J R長野駅東口全域を市街化促進活性化地域に、犀川南域を住宅環境 整備地域に、豊野町域を広域公園に、松代地域と千曲市地域間を史 跡公園に、黒姫高原と志賀高原一体を保健保養地域にそして山ノ内 町、中野市、小布施町、須坂市、松代地区、千曲市等との連携を広域 的に→手法/新都市計画
16	【都市整備・土地利用】	<バスターミナルをJR長野駅東口へ> 長野市開発は、JR長野駅を起点として東方から東南に向かうのが自 然の理である。
17	【都市整備・土地利用】	<古い公営住宅の見直し複合建て替えへ> 公営住宅は団地形式で建てられているものが多く、そのほとんどは 「古い」「狭い」「前時代的」で、建て直しが余儀無くされている。
18	農学系大学誘致 (若者人口を増やす) 【その他】	東京農業大学等のキャンパスが 例えば飯縄地区等にあれば企業の 誘致にもプラスではないでしょうか。
19	<存在力>ある長野市 へ、サスティナブル都 市の創造【その他】	幸福度ナンバー1の長野市を目指す。市民が毎日生き生きと活動し ている幸福度の高い市民へ。幸福は、今を幸せだと感じることのできる 力
20	【その他】	放って置けば必ず荒れ果ててしまう地域を活性化して下さい。
21	住み慣れた地を楽園に ーリバースモーゲージ への提言ー【その他】	私たちが住む住宅地には空き家・空き地が増えてきている。10年後 には、おそらく4戸に1戸とか3戸に1戸は空き家になるであろう。 この問題に対処するため、私はリバースモーゲージの利活用を提言 したい。 リバースモーゲージとは、老後の生活をサポートするために自宅を担 保に資金を借りて、死後に精算するというものである。

「市民まちづくり意見交換会【市長とまちかどトーク】」提案募集について

(1) 子育てママグループ

- ①設定目的 少子化対策のひとつとして、第2子以降を出生、また育児しやすい環境をつくっていくため、子育て中の方を対象としたグループを設定した
※参加者は、保育・幼稚園課から推薦
- ②開催日 平成27年7月8日
- ③提案件数 23提案(12人)

(2) アクティブシニアグループ

- ①設定目的 今後、さらなる老年人口の増加が見込まれ、豊かな高齢社会をつくっていくため、高齢者の方を対象としたグループを設定した
※参加者は、高齢者福祉課から推薦
- ②開催日 平成27年7月10日
- ③提案件数 15提案(10人)

(3) 勤労者グループ

- ①設定目的 長野市の様々な分野での活性化のために、人口割合が高く、社会を支えている生産年齢人口に対応する勤労者の方を対象としたグループを設定した
※参加者は、産業政策課で運営している「おしごとながの」のサイトに登録している会社の社員、長野青年会議所の会員、男女共同参画センターの登録団体である「長野市地域女性ネットワーク」の会員
- ②開催日 平成27年7月14日・15日
- ③提案件数 31提案(15人)

提案内容(抜粋)

グループ	番号	分野	内容
	1	行政経営	長野市のホームページは、高齢者や子育て中の母親が、見たいものをすぐに見つけられる状態ではないと思うので、マイノリティの人たちの意見をもっと聞いて、双方向のやり取りをしていってほしいと思います。
	2	行政経営	佐久市や上田市のホームページは、トップページからすぐに子育てサロンの案内ページにとべるのですが、長野市のホームページは分かりにくいので、1クリックで子育てサロンの紹介が見れるよう改善していただくと嬉しいです。また、みどりのはがきや、カトウさんへの提案ポストのバナーももっと分かりやすくすれば、市民の声を聞けると思います。
	3	行政経営	以前、地区にある川の整備のことで、みどりのはがきを送ったことがあり、市の職員が視察に来てくれましたが、区長に相談してほしいと言われ、区長に相談したものの、その後音沙汰がありません。みどりのはがきを送っても、きちんとした回答を得られなかったという話を聞いたこともあるので、こういった仕組みをもっと有効に使っていただきたいと思います。
	4	保健・福祉	信更の豊かな自然を生かした自然保育を推進していただきたいと思います。信更の自然保育に魅力を感じ、若い世代の人たちがここで住み、子どもを育てたいと感じて移り住んでくれるよう、そして信更の自然保育にもっと力を入れられるように、行政の方々の積極的な関わりを期待したいと思います。
	5	保健・福祉	私は中学生が卒業する時に、不用となる学用品、例えば制服、運動着、楽器、上履き、文房具、辞書、かばんなどを、入学してくる子どもたちに使ってもらえるシステムを作ってほしいと思い提案します(学用品のリサイクル)。

グループ	番号	分野	内容
(1)	6	保健・福祉	初めての子育てで誰もが不安になるかと思いますが、そこで必要なのは専門家というより、同じ気持ちを分かち合えるお母さん同士の交流ではないかと思いました。そこで私が考えたのは、同じ月齢の赤ちゃんがいる母親が定期的集まる場所を作ることです。母親達が楽しみに出かけられる場所になって欲しいと思います。
	7	保健・福祉	子育てしやすくするためには、 ①子どもが具合が悪くなったらすぐ仕事から帰るのが当たり前の社会にする。 ②遅い時間まで働かない。その分補助が出る。 ③今子育てしている母親全員の意見を聞く。 ④海外等の子育てしやすい工夫、政策をできるだけ取り入れる。 ⑤保育園や学校の対応を子どもや母親を第1に考えたものにする。 ⑥小さい子どもがいて頼れる人がいない母親専門の働く場所をつくる。等
	8	保健・福祉	私の提案は、ママとママ予備軍に対する多様なプロフェッショナルによる総合的かつ長期のコンサルタントが行える施設「マイ・コンサルタント」です。ママ予備軍が女性の身体的な妊娠・出産の限界を知ること、仕事を含めた長期のライフプランを早期より考えることの意識を持ち積極的に安心して結婚・出産へと進めるように、啓発活動(啓発活動に関しては、この他にも、市が啓発イベントをビックハットのような会場で大々的に年に一回行うのもどうでしょうか)と相談業務をこの施設で充実させます。 《子育て世代からの意見》 ・孤独になりがちな母子へのサポートをしてほしい。(月一回などの集まる会を設ける、自宅への訪問、無料のスペース開放など。) ・病地病後児保育のサポートを充実させてほしい。 ・医療費・学費の無料化か軽減をしてほしい。 ・育児休暇が一年しかないが、未満児の保育料が高いので、働くと損をする事になるので、育児休暇か保育料の見直しなどしてほしい。 ・不登校児の昼間いける場所が欲しい。 ・夜勤もある看護師等の子どもを夜預ける場所の充実。 ・DVなどで離婚を考えている人の一時的な避難場所がほしい。 ・電話をたらいまわしにしないで、一括で対応出来る電話の窓口が欲しい。 ・様々な手続きを相談員が窓口と同行して、次何をすれば良いか等案内してほしい。
	9	保健・福祉	・長野市からの「子育てガイドブック」にはたくさんの情報が詰まっています。もっとマタニティセミナーなどでPRすれば良いと思います。妊娠中からのより一層の情報発信と迅速な手続きと対応を願います。 ・医療費無償化も市町村単位でバラバラです。子育てしている家庭への支援を、国や県に頼るばかりでなく独自の目線をお願いしたい所です。 ・先日、新しく権堂にできた「市民交流センター」。建物も庭も素敵でとてもよい場所でした。しかし、駐車場を無料で使うことができません。隣接して長電パーキングがあるので、子連れで交流センター利用時には無料で駐車できるとありがたいです(じゃんけんぽんについても同様)。
	10	保健・福祉	育休中であることや、下の子どもの保育に手がかかるという理由でも保育園の入園を許可するような柔軟さが今後の社会には必要なのではないでしょうか。母親の育児の負担感を軽減する方策(支援)として保育園の入園要件の拡充(緩和)を是非とも提案したいと思います。
	11	保健・福祉	支援センターについて、例えばじゃんけんぽんは朝10時からですが、子どもは早起きなので、もっと早い時間から開いていたり、毎日利用できるような支援センターがあれば良いと思います。
12	保健・福祉	今回私の提案は「子どもの医療費窓口無料を実施する」です。全国的にも、窓口無料が広まっています。	

グループ	番号	分野	内容
	13	教育・文化	信更の小学校、中学校を特認校に指定していただき、通学区をこえて希望する子が誰でも通えるようになればいいです。
	14	教育・文化	長野市の公民館について、長沼公民館を指定管理者に委託したことをきっかけに公民館条例も改正され、公民館での活動が今まで通り出来るのか、とても不安に思っています。今まで通り、社会教育を目的としている登録団体には無料で使用できるようにしていただきたいです。
	15	教育・文化	今の学童保育の状況を細かく聞いていただいて、施設の拡充や、働く人を増やしてほしいです。ただ預かって、事故のないように帰すだけでなく、子どもたちにとって放課後が豊かな時間となるようにしてあげたいと言っていましたので、よろしくお願いします。
	16	教育・文化	昭和小の児童館は午後6時までだそうです。働くお母さんにとって、6時までに迎えに行くのは無理です。児童館によっては6時以降も大丈夫なところもあるようなので、もう少し緩和して、一律にしていきたいと思います。
	17	教育・文化	児童数が多い昭和小や下氷鉤小は、児童館に入りたくても入れない待機児童がたくさんいますが、私の娘の共和小は待機児童は一人もいません。偏りを調整することはできないのでしょうか。
	18	産業・経済	一人暮らしの大学生、若い夫婦、もちろん私たち世代や上の方でも、マンションやアパートなどで菜園スペースが無い方のために、市を挙げて菜園の取り組みをしてみてもどうかと思うのです。眠っている農地を貸したい人、菜園スペースを借りたい人をそれぞれ募ってマッチメイクします。また、実際に農業している方を招いて、実演講習会などイベントを行うのも良いかと思います。
	19	産業・経済	今日の提案としては、長野市に「色」(特色)が欲しいということです。「そういえば長野市に来て、善光寺とあと他にどこか案内するとすればどこだろう？これと言って特色ある場所が無いな」と思いました。先日、南長野に新しい競技場が出来ました。近隣にはお店なども次々オープンしています。高速のインターが近く、駅からもバスやタクシーなどのアクセスを良くすれば、集客が見込める立地条件ではないかと思います。長野市や長野県内だけでなく近隣の県からも大勢の人が訪れる、また訪れたい長野市の「色」を持つ1つのタウンとして造りあげるといえるのはどうかと思います。
	20	産業・経済	長野市は今後大型ショッピングモールは建設しないと聞いています。ショッピングモールなど若い子連れで買い物をする私たちには本当にありがたい施設です。大型ショッピングセンターがある市町村に市外からの観光客が来るので収益もあるのではないのでしょうか！
	21	都市整備	長野駅前にもたまには買い物に行きますが、1番困るのが駐車場から店舗までの移動です。店舗ごとに何度も駐車場を停めなおすのは出来ませんから、若い子どもをベビーカーに乗せて買い物袋を持って移動するのは本当に大変でした。また天候が悪ければ残念ながら行くのを諦めます。
	22	都市整備	福岡の友達は、ベビーカーで行けない場所がないようなまちづくりがされていて、大変子育てがしやすいので、もう長野に戻りたくないと言っています。
	23	都市整備	家のすぐそばに幅2m程の川があります。ちょっとした隙に子どもが川に転落してしまうのではないかと考えると心休まる時がありません。また、川の横の道がとても細く救急車が入ってこれません(消防車は入ってこれないと思います)。そうした理由から、家の前の川の場合は、ふたをしてその上に車が通れるようにしていただきたいと思っております。居住地域の周辺は、事故等が起こらないよう、また、救急車や消防車が入れるよう町を整備していただきたいと思っております。

グループ	番号	分野	内容
	1	行政経営	第5次長野市総合計画の策定にあたって是非とも組み込んでいただきたいことに、中山間地域の振興策であります。中山間地の振興策として13の地域固有の特色を活かした方策を打つことをご提案いたします。それを進めるためには支所機能の充実です。充実とは、支所への予算の配当を拡充して支所長はじめ支所職員は、地域住民と寝食を共にできるシステムづくりを考案する。
	2	保健・福祉	現行の「おでかけパスポート」素晴らしい制度であります。とかく、遠距離にある住民の特典のごとく考えられがちですが、中心市街地から中山間地へ向かうこともこの制度は、救っています。誰もが容易に出かけることが健康増進、生活不活発病予防、経済の流動になります。新しく建設されます芸術館や市役所本所へ市民誰もが同等な負担で集まれる制度こそ福祉制度であり活性化につながるものであるので、対象を65歳まで拡大する制度を提案します。
	3	保健・福祉	戸隠地区に限らず、高齢者が生き生きと生活していけるための各種施策を講じていただきたいと思えます(戸隠・鬼無里地域特有事業「雪害救助員」の充実など)。
	4	保健・福祉	地域における老人クラブの活動は多大なものです。会員を増やし次世代に繋いでいかなければと思っておりますがなかなか会員が増えません。各区にはそれぞれ公民館があります。それをフル活動し、みんなが集まる回数を増やし歌をうたったりゲーム・軽い運動をしたり、おしゃべりをしたりする場所をつくり、ミニデイサービスのものを気軽に出来ることが元気で長生きできる手助けができるのではないかと考えています。
	5	保健・福祉	郷土芸能(和太鼓・民舞踊等)は、人々に心の安らぎを与え、地域の絆を深め、明日への希望を与えてくれます。そこで和太鼓は高齢者の元気づくり・仲間づくり・生きがいつくり・幸せづくり、ひいては地域の再生化、活性化を図り、長沼をそして長野市を元気な明るいまちにすることを目指します。
	6	保健・福祉	現代の高齢者、特に団塊の世代は現役を退職後、まだまだ元気である方がほとんどです。町内会の役員をしたり、成人大学校へ通う人もいますが、自宅にいる人も多いと思えます。特に高齢の男性は、社会参加の一步を踏み出すことが難しいように思われます。そこで町内会を中心に区長さん、組長さんが、時間があり、体力のある高齢者、特に男性に声がけて、町内の草とり、ゴミ拾いなど、定期的に行ってもらえば、自宅にばかりいる人も定期的に町内の人と顔をあわせて話をする事ができるのではないかと思います。また、有償ボランティアの情報など、市報や回覧板でまわして情報を共有できたら良いと思えます。有償だと頼まれる方も責任をはたすようになるし、頼む人もお金を少しでも払うことにより気持ちの負担が楽になると思えます。今後は、高齢の男性の社会参加を促すことが特に大切だと思います。
	7	保健・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物が困難な人が多い。小さな商店が閉店してしまい、遠くのスーパーまで行かなくてはならない。このことから、外出の機会がなく家にこもってしまう。そこで、お茶のみサロン・町の縁側を多くひらき、一人で家にいる時間を少なくしたい(そこで現況など、情報を得ることができる)。できればボランティアの人に食事を作ってもらい、公民館で食事ができれば良いと思う(公民館をいつでも開けておいて、いつでも来られるようにしたい)。 ・デイサービス・通院など。いろいろ問題はありますが。隣近所が助け合っていくことが大切だと思います。 <p>《福祉自動車について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線。7時～9時の時間帯に、福祉自動車も許可できないものか。 ・福祉自動車で買い物ができるようにしたい。 ・タクシー会社に車イスの人を乗せることはできないものかと思う。

グループ	番号	分野	内容
(2)	8	保健・福祉	空き家を利用して長野市32地区に仮称「自助・共助ふれあいホーム」を設置する。ホームは自分のことは自分でできる高齢者の共同住宅兼交流の場として活用する。また、地域の老人クラブを含む社会福祉団体等の事務所として使用する。空き家の改築費用は個人の住宅部分除いて国・県・市の補助金で整備する。施設の運営は老人クラブを含む社会福祉団体が運営する。入居者から家賃、生活費等のほか施設改築費用の一部を徴収して施設の設置・運営費に充てる。施設は交流の場としての機能のほか、元気な高齢者を中心に友愛活動の一環として、寝たきり高齢者の訪問活動や地域の見回り活動、伝統文化の継承や地域の美化運動等の社会奉仕活動を行う。市は必要に応じて援助を行う。
	9	保健・福祉	<p>《老人(高齢者)クラブ活動の基盤強化》</p> <p>「仲間づくり」「健康づくり」「生きがいづくり」「地域づくり」を進め、未組織地域を解消するため、市の指導と協力を得てお互いに助け合いの出来る長野市を目指してほしいです。</p> <p>《高齢者介護施設の充実》</p> <p>ショートステイの充実と高齢者の居場所(サロン、お茶のみ場、抛り所)を充実させてほしいです。これを進めるため、空き家の利用と高齢者(老人クラブ)の協力による施設の運営をしてほしいです。</p>
	10	教育・文化	<p>○子ども達に思う</p> <p>間違った事柄に目をそむけるのではなく、積極的に物事に対面させ、子どもなりの考え方を聞いた上で、親としてのアドバイスをします。このような常日頃の薫陶が、子ども達に判断の力を蓄えさせ、たとえ一歩一歩が手探りで危なっかしくとも、必ず立派に人生を渡り終えることになるのではないのでしょうか。</p>
	11	産業・経済	<p>《「低層ゲタ履集合住宅」による中心街区の活性化》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心街区の商店街などは、低層(高々3～4階程度の)集合住宅(「ゲタ履住宅」)で再構築します。その1階部分を商店、飲食店、会社事務所等のいわゆる「お店」にします。2階以上は、居住空間として、お店の人々の住居とする。余った部分は、長野市に住みたいという方や、昔はそこにいたが、現在郊外に住み、戻ってきたい方々の住居とする。できるならば、2階は高齢者家族を優先的にするのもよいと思う。生活環境(住環境)としては、優れたものになるはずです。 ・集合させる事で余った(空いた)土地は、ポケットパークとして、住民の「縁側の空間」にすれば、住民同士のつながりも増加し、住み良いまちが実現するはずです。

グループ	番号	分野	内容
	12	都市整備	<p>《長野市中心街区の交通網の再構築による渋滞緩和案》 周辺郊外地向けのバスの発着を、中心街区周辺に設置する「ハブ型バスターミナル」で行う事とする。(現在の八十二銀行西側の長野バスターミナル的なもの)</p> <p>①長野バスターミナル(現)…信州新町、中条・小川、更府、更北・篠ノ井、安茂里地区など ②旧勤労者福祉センター跡バスターミナル(新)…戸隠、鬼無里、川後、飯綱 ③長野駅東口バスターミナル(新)…須坂、保科、若穂、松代、金井山、松岡、大豆島、長野日赤、市民病院 ④権堂(田町)バスターミナル(新)…豊野、三才、浅川・北郷、坂中、牟礼、信濃町、飯綱町方面</p> <p>・以上の①～④のハブ型バスステーションに、近郊向けバスを集中し、中心街区内部を通過させないようにすれば、渋滞の解消の一助になると考える。 ・中心街区内部は、現ぐるりん号はそのままとし、新たに、平林街道、昭和通り、近々開通するであろう「JR南まわり線」を結ぶ8の字型循環路線に、新ぐるりん号を走らせる。現行ぐるりん号と同様に、1時間に3～5本とすれば、市内のほとんどの場所に、公共交通機関を使って行くことが出来ると思われる。市内の交通渋滞減少や自家用車の走行減少がはかれると思うので、環境にやさしい、住み良い街になると期待される。</p>
	13	都市整備	<p>《中山間地における交通弱者の足を確保する為の提案》</p> <p>・中山間地の地区内に、ぐるりん号型のコミュニケーションバスAを走らせる(高々10人乗り程度のキャブ型、1時間に1本程度、デマンド型兼用利用料金:1回100円とする)。区域外(長野市中心街区など)に行きたい人々は、ステーション[各地区支所、郵便局、商店(スーパーなど)などで可]に待っている。これらのステーション間と、中心街区にあるハブ型バスターミナル間を循環型バスB(15～20人乗りのマイクロバスor25～30人乗りの小型バスとする、1時間に1～2本位、利用料金:1回100円～200円)を走らせ巡回し、待っていた人々を乗せてくる。各ハブ型バスターミナル間は、現行ぐるりん号を拡大運行して継ぐ。</p> <p>・各バスターミナルからは、異なる地域に向かって、循環型バスが出ているので、乗り換えで各地に向かうことが出来る。 ・この方法では、足としての自家用車を失った高齢者も区域内の移動、中心街区への出向き、さらに遠隔他地区への出向きも、十分に行えると考えている。 ・現行ぐるりん号は、地域内コミュニケーションバスとしては、優れた特性を持つもので、将来に向け、拡大されることを望みます。</p>
	14	都市整備	<p>高齢者及び交通弱者や中山間地域の公共交通機関の充実させるため、市営バス、福祉バスの運行をしてほしいです。</p>
	15	都市整備	<p>かつては各集落ごとにあった雑貨店もほとんどが閉店し、最近では地元農協スーパーも閉店し、日用品の購入さえ困難な状況にあり、いわゆる買い物弱者と呼ばれる高齢者が増加しています。住民の移動手段に必要なセーフティーネットとしての地域公共交通を、さらに充実してほしいと思います。</p>

グループ	番号	分野	内容
	1	行政経営	<p>ボランティア参加で感じたことですが、女の人は喜んで参加していただけますが、男の人は一人もいないのです。男の人は仕事一筋という人が多いと思います。定年退職後、外にどうやって出て行ったらいいのでしょうか。男の人だって退職してから、また何か人のためにしたいとか、自分が社会で活動した技術を生かしたいと思う人は多いと思いますが、どう地域に入るかわからない人も多いと思います。そんな人に退職前にぜひ企業でもボランティア、地域活動のノウハウを研修したらどうかと思います。その研修を終了した人へのボランティア活動に入るきっかけを、行政として場を作ってほしいと思います。</p> <p>もう1つは、自分が持つ技術を登録してもらシステムを設けたらどうでしょうか。シルバー人材センターとは別に、地区毎でもいいので、住自協から関わり進めていくのはどうでしょうか。男性の社会参加は、地域活動に厚みが出ると思います(住自協の活動にも深く関わってくる、これからの力になります)。</p>
	2	行政経営	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の活性化により、自分のまち、みんなのまちと思えるようになるのがベスト。 ・住民参加のまちづくり、住民参加型のイベント。
	3	保健・福祉	<p>「健康で元気よく働ける長野市を目指して～がん検診受診率100%のまちづくり～」</p> <p>10年後の長野市における勤労者を取り巻く状況を想像してみると、勤労者数は現在よりも大きく減少すると想定され、それによる経済活動の縮小は避けられないと考えます。そのような状況においては、現在働いている世代、働こうとしている世代がいつまでも健康で長く働くことの重要性がますます高まると同時に、現在就労していない主婦層への勤労参加のニーズも高まってくると想定されます。そして、今や2人に1人がかかる「がん」。その発症を100%防ぐことは難しいとしても、早期発見・早期治療により健康な身体を維持して働き続けることは可能です。</p> <p>このようなことから、①がん検診体制の拡充による勤労者の受診率向上(特に女性特有の乳がん、子宮がん検診の受診率向上)②若い世代へのがん対策推進を提案します。</p> <p>①の具体策として、行政は「企業における定期健康診断時の同時実施(検診車の出張)」「夜間、土日検診の拡充」、企業は「がん検診休暇など、勤労者が受診しやすくする制度づくり」「受診費用の補助」を行います。</p> <p>②の具体策としては、「市内の高校生全員を対象としたABC検診の実施」を行います。</p> <p>勤労者個人・企業ができることには限界がありますので、足りない部分を行政のサービスで補う「連携」が必要となります。</p>
	4	保健・福祉	<p>様々な窓口、そこに行くためのサポート、それらをまとめる包括的システムが必要だと考えます。例えば、10年後には700万人に激増するとも言われる認知症の問題は市民のサポートの力が必要です。高齢化により空家も増えています。実態調査が必要です。防災意識を高める必要があります。これらのことはすでに行政指導で、住民自治の中で取り組まれています。役員の皆様は苦勞して人権集会を開き、認知症の講演を開き、防災訓練をしています。でも、そこまでなんです。その先が必要だと考えます。</p> <p>1ヶ所に人を集めるのは大変です。防災訓練を全戸参加にしたらどうでしょうか？来てもらうのではなく、こちらから行くのです。日を決め1戸1戸声かけをする。留守なら留守でいいという意識をもって声かけすることで、見えてくる状況は必ずあると思います。空家の状況も分かります。住民も防災意識が高まり、地元の意識が強まってくると思います。</p>

グループ	番号	分野	内容
	5	保健・福祉	私は長野市の子育てをサポートする事が未来の長野市を明るくし、地元を支える人材が育つことにつながり、それがひきこもりなどの少ない、かつ税収を産み出し発展していく最も重要な財産になると思います。そのためには地域社会を市民活動につなげ、地域の皆で子育てを応援しつつ市民の力で住みよい長野市に変えていくというきっかけ作りが必要だと思ひます。市民まつり的な物を企画し、まずはトイゴ等1ヶ所から子育て支援のイベント開催(ボランティア、大学、民間企業の活用でコストを抑えながらの共催など)や、託児付の子育てセミナーの企画などあらゆる子育て支援のきっかけ作りができたらと願ひます。また、今回参加された方から提案のあつたアートとカルチャーの企画と共同開催によって世代を超えた関わりを育み、市民の力を活用できる事と思ひます。
	6	保健・福祉	現在も、長野市にはさまざまな相談窓口があると思ひますが、なかなかそこまで辿りつかないのが現実です。たくさん情報の中で、自分の求めているものを見つけるのは難しいので、行政と市民の間にサポートしてくれるボランティアの方がいたり、包括センターを活用したり、ひと工夫すれば現在のシステムが格段に良くなると思ひます。
	7	保健・福祉	私は10年後の長野市で安心して子育てができることを望みます。そのために、私は3つの提案をします。 ①金銭面における制度の充実さです。子どもの医療費無料など、より手厚い金銭面での支援が安心して子育てができる環境になると思ひます。 ②現在のニーズに合つた支援を提案します。現代社会においては、共働きや母子家庭など様々な環境で子育てをしている人がいます。そのため、支援のニーズも様々だと思ひます。時代とともに変化するニーズを敏感に把握し、迅速に対応することが安心して子育てする環境に結び付くと思ひます。この環境を整えるために、例えば子育てしている人が集まる場(病院・幼稚園等)でのアンケートや、集まる場の提供を通しての意見交換などができるのではないかと考えます。 ③これらの制度・支援を発信する仕組みをより強化することです。まだ子育てをしたことがない私は、長野市の子育て支援についてよく知りません。しかし、今後子育てをするであろう人・世代に長野市での取組をアピールすることは、将来の安心感を得るために大切なことだと思ひます。現在も市報やホームページで情報提供はされていますが、今必要ではない情報を見たり調べたりすることはなかなかしません。日常生活の中で自然と目に入ってくるような情報発信の方法(駅でのポスターなど)を工夫し、子育て支援があることをアピールしていつてほしいです。
	8	保健・福祉	・以前、工場を任されていた時に1番苦勞したことは、女性社員の産休、育休からの復歸に関することでした。女性社員が子どもを産んで、1年くらいで復歸する際に、「保育園が見つからないから、復歸をもう少し待つてほしい」ということがありました。4月頃の入園だとタイミングよく入れるようですが、年度の途中で復歸を迎える人は、入れる保育園を探すのに苦勞するようです。特に市街地の保育園は難しいようで、工場は若里にあります。少し離れた保育園に預ける人もいます。企業としては人材を確保したいけれど、そのようなことは今もあるようです。長野市は広いので、各地域に保育園をつくり、余裕をもつた受け入れ体制をとつていただきたいと思ひます。 ・少子化の問題についてですが、企業によっては1人、2人目までは手当てがあるけれど、3人目以降はないという所もあるようです。やはり子どもが多いと金銭的に負担が大きいので、行政による3人目以降に対する特典があれば産みやすい環境になるのではないかと考えます。 ・少子化のことを考えると、結婚率を上げる必要があるので、市で出会いの場などを企画したりして対策を進めていつていただきたいと思ひます。

グループ	番号	分野	内容
	9	教育・文化	<p>現在長野市において、進学などの理由から県外に出て、その後Uターンとして戻ってくる割合は約4割程度とされています。この4割という数字を少しでも高くする必要があると考えます。そのために必要なことは、市民一人ひとりが長野という地に誇りを持つことではないでしょうか。「故郷への誇り」というのは、突如芽生えるものではなく、幼少期からの教育や育った環境などが積み重なり、そして芽生えてくるものだと考えます。そして、その「誇り」を持つための手段の一つとして、市民一人ひとりが参加して創り上げる「文化・芸能の祭典」の開催を提案します。</p> <p>《長野を誇りに感じる祭典【Nagano Arlture Symphony】》</p> <p>Arltureとは、ArtとCultureの造語です。本祭典は、長野市が新緑あふれる5月に、文化・芸能月間として1ヶ月間開催します。この1ヶ月間は長野市に新設される長野市芸術館をはじめ、ホクト文化ホールや北野文芸座、その他の美術館やギャラリーなど、町にある小さな会場においても演劇・音楽・歌舞伎・ミュージカルなど、様々な催しを開催します。その会場で催される全てのイベントをまとめたアールチャーマップを作成し、長野市民はもちろん、そこに訪れる人々もそのマップを片手に文化・芸術に触れることができます。また、多数の市民もボランティアとして参加し、マップの作成から、チケットの手配や当日の案内などにも協力してもらい、当事者意識を醸成させます。</p>
(3)	10	教育・文化	<p>働くお母さん必見！「夏休み 長野市山村留学プログラム【English version】</p> <p>・ねらい 都会人：長野市を『自分が頑張った場所＝アナザーシティ』と感じてもらう。 長野市民：長野市でのワクワク経験を機に長野愛を深めてもらう。</p> <p>・概要 ①山村留学と国内留学を合体させたプログラムを作成する。 ②日程設定は保育施設や児童センターが休みの日を含める。 ③少年の家・スイミングスクール・外国人教師・信州大学学生を活用し思い出に残るプログラムとする。 など</p> <p>・背景 ①保育施設が休みの日に安心して子供を任せられるところがあればいい。 ②子供を留学させたいが踏み切れない。(有給休暇がとれない、同行には費用がかさむ、テロや伝染病が心配) ③夏休みの工作を何にしようか……。読書感想文も何とかしなきゃ。</p> <p>・ターゲット ・おもいっきり自然にふれたい！ ・夏休み、子供だけで自宅で過ごすかも！ ・留学(英語)に興味がある！ など</p> <p>・参加コース(2本のコースのうちどちらかを選択する) A:『ほのぼのコース』(対象:小学生) B:『英検4級受験コース』(ただし、将来的なものと思えるべきかも)</p> <p>・留意事項 ・電子ゲーム類、持ち込み禁止</p> <p>・今後の展開 ・夏休み恒例行事として成功すれば、冬休み、春休みにも。 ・アンケート実施等で内容の改善を図る。(2回目割引？兄弟割引？) ・英検は合格実績を数値化。 など</p>
	11	教育・文化	<p>学校で絵本の読み聞かせのボランティアをするのですが、子どもの絵本離れが進んでいます。子どもが選んだ本ではなく、昔ながらのいい絵本を読んで、子どもにほっとしてもらえるようにしています。TOiGO前の広場で、「青空絵本」のようなものを企画して、子どもたちに来てもらってはいかがでしょうか。</p>

グループ	番号	分野	内容
	12	教育・文化	芸術家や作家は作品を多くの人に見せたいので、御開帳という大きなイベントでできた繋がりを絶やさないことが大切だと思います。
	13	教育・文化	・芸術でまちを盛り上げるには、よっぽどインパクトがないと難しいと思います。長野大通りの彫刻について、もうひと工夫必要だと思います。お金に代わる何か、ファンになってもらう何かのアイデアを出してから行ってほしいと思いました。 ・「長野市を1つのミュージアムに」というコンセプトは今の段階ではまったく感じられないので、例えば彫刻を見て回るツアーを大々的に組んで、テレビ等とタイアップしてやるといったことが必要だと思います。
	14	教育・文化	私も、彫刻は無駄だと思います。作る側の思いはあると思いますが、受け取る側に感じるものがないと動きが生まれません。
	15	教育・文化	彫刻がそこにある意味合いが、市民に伝わらないのは残念なので、それを伝えていくことが必要だと思います。
	16	教育・文化	芸術作品が出来上がる過程を知れば、市民にとって魅力的なものになるのではないかと思います。MIDORIがオープンする時に、女性が壁に大きな絵を描いているところをタイミング良く見ることができたのですが、次に完成品を見たときに身近なものに感じました。文化は、すぐには根付かないものだと認識しているので、過程を見せることも必要ではないかと思います。
	17	教育・文化	南長野運動公園総合球技場の改修後の収容人数は、なぜ1万5千人だったのでしょうか。パルセイロのホームスタジアムの収容人数としては妥当だったのかもしれませんが、都心のスタジアムは3、4万人が当たり前ですし、もし観光資源として使うのであれば、もう少し大きくても良かったと思います。また、駐車場が確保されていないため車でスタジアムまで行けないので、整備されればパルセイロの観客数も増えると思います。
	18	産業・経済	長野と言えば「善光寺」というブランド力がありますが、新幹線の金沢延伸による観光客の減少が今後予想されます。長野市には善光寺だけでなく、様々な観光地があります。真田十万石の城下町松代もその1つだと思います。これからNHKの大河「真田丸」で話題性も上がるのではと期待しております。その他、佐久間象山や松代城址、大本営地下壕といった魅力的なスポットがたくさんあります。なんとと言っても長野ICから5分と車での利便性は抜群です。松代はあくまでもスポットの1つであり、長野市には戸隠や飯綱など自然豊かな場所、南長野運動公園総合球技場などの球技施設も充実しております。 東京を中心とする関東地方、また、北陸地方などに、さらなる情報発信、PR、地域との連携、環境整備等をお願いしたいと思います。長野県が運営している銀座NAGANOのようなアンテナショップ、イベント会場などの利用なども良いPRになるかもしれません。
	19	産業・経済	《中心市街地における定住の促進》 ・魅力ある集合住宅 ・住戸+αの複合施設、ストリートファニチャー、ポケットパーク等のストリートアメニティの充実、昔ならではのコミュニティの再生(井戸端会議できる街)等 具体的には、戸数を稼ぐだけではなく、テナントやバス停やポケットパークをあわせもった集合住宅、そこに都市のアメニティやコミュニケーションが生まれるような建物を中心市街地につくり、中心市街地に住むという提案をしていくのが良いと思います。
	20	産業・経済	住んでいる私達も、市外から来てくださる方にも、長野市に魅力を感じ、「また来たい」と思ってもらえるようになればまちも活性化し、長野市にたくさんの方が来ると思います。 ・ショッピングモール ・イベントの開催 ・海外の方との文化・言語の壁

グループ	番号	分野	内容
	21	産業・経済	長野県もお花の大産地で、優良産地として評価されているのですが、知っている人は少ないのが現実です。そのことを知ってもらい、お花のある生活を提案するためのイベントが出来ればと思うのですが、そういったスペースがないと感じます。
	22	産業・経済	なかなかTOiGO内に人が入って来ないので、是非TOiGO前の広場で、今以上に充実したイベントや賑わいのある政策を考えていただきたいと思います。
	23	産業・経済	TOiGOで子どもを連れて参加するようなイベントがあれば良いと思います。子どもを連れてご飯を食べに行くことは、非常に勇気のいることなので、子連れを受け入れてくれるレストランが増えてくれるとありがたいです。
	24	産業・経済	御開帳が終わったの中央通りは、パタッと人がいなくなっていました。まちは、そこにある商店が何とかしなくてはと思わない限り変わらないと思います。人が来ないと言ってるだけで、人を呼び込む努力をしていないのが、今の中央通りだと思います。
	25	産業・経済	仕事をして思う事ですが、多くの企業は売上げに悩んでいます。利益が上がるための相談窓口が必要と考えます。
	26	産業・経済	ネットワークと情報を与えてあげるのが大切だと思います。中小企業や個人経営のお店は、日々の業務に追われてどうしたら利益が上がるのかというアイデアを考える暇がない場合があります。小さな企業ではコンサルタントは雇えないので、長野市でも、無料で相談できるような窓口を提供することが必要だと思います。活気が出てくれば、まちをこんな風にしていきたいというところまで話がいくかもしれません。アイデアをいただいて、企業が集まって交流できる場が必要だと思います。
	27	産業・経済	コンサルタントの相談会を開くなら、市報に、相談内容を載せてボランティアで相談に乗ってくれる人を募集すれば、費用をかけずに開催できると思います。
	28	産業・経済	東京～金沢間という新たな交通を長野市は、重要視していかなければならないと考えます。今後、北陸新幹線の通過点長野市とならないように、新たな観光資源を作り、長野市に新たな活気を作っていくべきだと考えます。新市民会館や信濃美術館のような文化芸術を重要な観光資源とし、長野市街地のまちづくりを行うことができると考えています。ここで重要だと思うことは、まずは市民に長野市をより好きになり、長野を創造するという意識を持ってもらうことです。長野→善光寺の参道エリアから、人の賑わいを広めるために、新たな通りを作りたいと考えています。アーティストインレジデンスなど若手作家が自ら住み、創造する場から、新たな文化が生まれると思います。現在の善光寺の門前の歴史的観光資源に新たな観光資源を組み合わせることで、今後の長野市の新しいかたちを作ることができます。新たな美術館計画や市民会館など建築的要素と、市民が自ら動き、周囲に広める要素により、新たな長野市のまちづくりとなるのではないかと思います。

グループ	番号	分野	内容
	29	都市整備	<p>・今年に入り石畳化が完成した新田町交差点から大門交差点は、歩道もとても広くなり、善光寺の表参道として景観も素晴らしく、雰囲気のあるとても魅力的な通りになったと感じます。しかし、気になってしまうのが、新田町交差点から末広町交差点までの区間です。この区間は車道がアスファルトのままであり、善光寺からの参道としての空気感が急に薄れてしまう印象があります。統一感という意味でも、善光寺から続いている石畳の道。整備によって新田町交差点まで延びてきたのでここで止めてしまうのはもったいないと思います。</p> <p>・駅ビルも改装工事を経てリニューアルし、また最近では駅前近辺に個性的で魅力的な飲食店が増えている印象があります。歩行者優先の道路を整備することで、歩行者が増え、たくさんの方が行き来することで、長野の中心市街地が活性化し、発展につながっていくのではないのでしょうか。</p> <p>・また、セントラルスクエアが駐車場として利用されているのがもったいないと感じています。公園等、地元の方や観光客の方が気軽に立ち寄れる場所にしていきたいと思います。</p>
	30	都市整備	<p>善光寺の御開帳は非常に賑わっていましたが、長野ICを降りて、松代から善光寺に向かう国道117号はいつも非常に混んでいます。観光シーズンだけでなく、平日の朝も1車線がバス専用レーンになるため混んでしまいます。当社の市内南部から通勤する人は長野大橋を通るので、渋滞に巻き込まれています。バスで通勤する人はいません。以前、東京や千葉に住んでいましたが、特にバス専用レーンというものはありませんでした。1度試しにバス専用レーンを廃止して、2車線通れる期間を設けてみてはいかがでしょうか。不具合を確認したり、良ければバス専用レーンを廃止しても良いと思います。</p>
	31	都市整備	<p>《住むまち長野、長野市ベッドタウン化》 前提 観光地としての魅力に疑問を感じる。自然溢れる豊かな環境に住む。長野で生活し、都会で遊ぶようなまちづくり。</p> <p>・誘客・他県からの移住。市内で新たな雇用を創出せず、インフラ確立により職をもった生活安定家族を受け入れる。 →移住交流施設(JC)、地域協力モデル(徳島県)</p> <p>・交通・市内に住み、県外で働ける環境。長野駅をハブ駅化する。長野⇄東京、長野⇄金沢、長野⇄名古屋 →通勤補助、交通補助、長野⇄名古屋間新幹線開通</p> <p>・まちづくり・子育てに安心なまち。夜の歩道安全化。子どもと大人の交流。 →蓄電による街灯LED増設、明るい歩道で犯罪抑制、保育施設+高齢者施設⇒高齢者にも責任を与える、意識改革でボケ防止、出産後の雇用も促進、子どもがいろいろな交流を行い人間的に成長</p>

児童・生徒・学生まちづくり意見交換会【市長と話そう～長野の未来～】提案募集について

(1) 小学生グループ

- ①開催日 平成27年8月3日
- ②提案件数 30提案(25人)

(2) 中学生及び市立長野高校生徒グループ

- ①開催日 平成27年8月11日
- ②提案件数 17提案(12人)

(3) 高校生グループ

- ①開催日 平成27年7月31日
- ②提案件数 24提案(16人)

(4) 大学・短大・高専生及び専修学校生グループ

- ①開催日 平成27年8月19日
- ②提案件数 14提案(10人)

※未来の長野市の主役である、児童・生徒・学生から、自らの住むまちに対する夢や希望について提案していただいたが、年齢差が大きく、また、より手厚く意見を提案していただくため、学校種別にグループを設定した。

※(1)と(2)のグループについては、学校教育課事業「わくわくリーダーズながの」から意見聴取。

提案内容(抜粋)

グループ	番号	分野	内容
	1	行政経営	私は、長野の未来は、もっと地域同士の交流が増えて人と人が仲良くなればいいと思います。理由は、私が住んでいる中条では、近所の人だけでなく、地域全体の人と話せたりして、地域の中で助け合っているのので、安心して生活できます。このような中条の良さを、同じ長野市の地域の人達にも知ってもらうことで、助け合うことができたり、他の地域の良さを知ることができると思います。また、小学校での活動や学校生活の様子を学校のHPで発信していきたいです。
	2	行政経営	ぼくは、長野の未来は、活気にあふれ人が楽しくらせるようになればよいと思います。なぜそう考えたのか、それはこのリーダーズ長野の活動で長野市の発てんについてや今問題となっている人口減少について考えて、それならば人が来るような活気にあふれた町になればと思ったからです。ぼくの学校では、だされている問題を積極的に解決しようとする人がたくさんあります。このことを長野市もきっと改ぜんして活気にあふれる町になると思います。そういう長野市にするためには、たくさん話し合わないといけません。もちろん長野市に住んでいる人にもこうしてほしいことや直してほしいことも聞かなければいけません。しかし1人1人に話を聞いてはいつまでも終わりません。そこでアンケートをとってもらいその後集計し出したことを取り入れて新しい長野市を作れると思います。
	3	行政経営	アンケートをやって、もし長野にすむのなら、こういう所をもっと、よくしてほしいとかいてもらい、その中で一番人気があったものをやるなどとして、人口がふえるようにしていったらいいと思います。

グループ	番号	分野	内容
	4	保健・福祉	私は、長野の未来は子育てがしやすい長野市になっていったらいいと思います。具体的に長野市が実さいに行っている「子育てしえんカード」が使える場所を増やしていくという事を行っていても良いと思いました。
	5	保健・福祉	私は、長野の未来は、サービスを沢山して、子どもが沢山いる明るい長野市になってほしいと思います。私は、こんなことを考えました。子どもが生まれたら、子育てに役立つものを、無料で市からさしあげたりすればいいと思います。
	6	保健・福祉	僕は、長野の未来は、子供が増え、なおかつ、日本一長寿の県として、栄えていったらいいと思います。今のように、子育て支援パスポートなどのようなものを使っていろいろな所から長野に来てもらって、より、暮らしやすくしていけばいいと思います。
	7	保健・福祉	長野の未来は、もっと楽しく、みんな優しく、安心してらせるようになればいいと思います。これから、どんどんお年寄りが増えていきそうだから、そんなお年寄りの人を優しく支えてあげた方が、みんな安心して、くらすると思ったからです。
	8	保健・福祉	私は、長野の未来は、子どもが少しずつでもふえてほしいと思っていました。今は、独り暮らしが多いと思うので、結婚して、子どもを産んでほしいと思いました。
	9	環境	ぼくは、長野の未来は、「町に緑がたくさんあって、人々が安心して暮らせるような町」になっていったらいいと思います。そう思ったわけは、全国各地で都市の開発が進み、自然が少なくなっています。そして、いずれ地球が生物の住めない星になってしまうかもしれないと思ったからです。そのような活動を、まず長野市から止め、全国に広めるには、森を破壊するのではなく、森を作り、町に緑を植え、町にも生態系を作り、人々を動物が共存して暮らせる、ニュータウンのような町にすると、動物が絶滅する数は減ると思います。
	10	環境	ぼくは、長野の未来は、緑がいっぱいで自然がゆたかな景色が見られるようにしたいです。そう思ったわけは、中条小学校の高学年は、緑の少年団の活動をしています。毎年、地区の公園の下草刈りをして、地域の人や観光客の人たちに気持ちよく使ってもらえるようにしています。それから、中条の山から見た春の桜や秋の紅葉がとてもきれいです。緑がいっぱいで自然がゆたかな所が中条の自慢です。長野の自然のよさをもっと大勢の人に知ってもらいたいです。また、学校のまわりの自然も大切にしていきたいです。
	11	環境	私は、長野の未来は、森や林などがふえてほしいと思っていました。森や林は、なくてはならない「資源」で空気をきれいにもしてくれます。長野市は、森や木を大切にできる人たちだと思いますが、できるだけ、木を切ったりしないようにしてほしいと思いました。私が長野市の人をお願いしたいことは、森や林を、木を植えるボランティア活動を、たくさんやってほしいと思います。
	12	環境	ぼくは、未来の長野市は、今よりもっと、自然、緑が増えてほしいと思います。よく家族で田子池や戸隠に出かけますが、そこで魚釣りやカエルの観察をしていると、自然とふれあってる感じがするし、自然が豊かに感じます。そういう、自然豊かな長野市を、ぼくは大好きです。だから、これからも、豊かな自然を守り続けていくことが大事だと思います。それから、山にゴミや廃棄物を捨てることが絶対ないようにしてほしいです。

グループ	番号	分野	内容
(1)	13	教育・文化	ぼくは、長野の未来は、スポーツがさかんになって人がたくさんくるようになっていたらいいと思います。そういう長野市にするために、スポーツ大会などのイベントを行うようにしたほうがいいと思う。ぼくはこれから、いろいろな人にスポーツのよさを広めることをがんばりたいと思います。そして、スポーツのことを勉強したり体験してみたいです。そうすれば、スポーツがさかんになり、健康になって、人もたくさんきていい長野市になると思います。
	14	教育・文化	僕は、サッカーをよく友達や家族とやっていて、僕自身がサッカーゴールがある所でやりたいのですが、なかなかいい場所がありません。なので、スポーツが思い切りできる場所をつくれればいいと思います。そういう長野市にするためには、ベルマークやアルミ缶を集めたりして、お金を貯めればいいと思います。
	15	産業・経済	僕は、将来、長野は、今ある長野のよいところが残っていて、人口も今よりも増えて、明るくにぎやかで都会のような長野と、緑がきれいで植物がたくさんすみつく、大自然の中の長野、どちらもある長野になっていたら、僕はうれしいと思います。ある活動で「長野市歌」について考えてみようという活動がありました。そのときに、「とどろきて 産業のびゆく」という歌詞に、都会が発展してほしい。「大いなる 日本の屋根の かなめなる 理想の県都」という歌詞に、自然をずっと残していきたい。という、この歌を制定した人の願いがこめられているのかなあ、と予想しました。そして、こう考えました。「僕が考えている、理想の長野と一緒にじゃないか。」と、こんなことがあったから、僕は、都会の長野と自然の長野、両方あればいいなと思います。その長野を実現するために、僕は、まず長野の人口を増やした方がいいと思います。そして、人口を増やすためには、長野のいいところを、もっと積極的にPRしたいです。
	16	産業・経済	ぼくは、長野市の未来は、自然を活かした仕事を増やして豊かな長野になったらいいなと思います。長野市の今後の人口の変化の予想を見て、若い人たちが都会などに仕事へ行ってしまって人口が減っていくのを感じて、ぼくは、長野の自然を活かして、いろいろな仕事を作って、長野に若い人を呼んで人口を増やしていったらいいと思います。
	17	産業・経済	僕は、長野市の未来は、人が多くて、みんなが仲良くしているにぎやかなところになっていたらいいと思います。僕の住んでいるところでは、お年寄りの人や障害を持っている人達とふれあったり、お祭りをやったりなどの活動をしています。また学校では、自分の学校の自慢できることを記事にしてパンフレットを作ったりしました。こんなふうに長野市を全面的にPRしていけばいいと思います。例えば長野の特産品のりんごや桃、そばを試食してもらったり、「長野市いいところツアー」みたいなものを開催したりして人を呼びこめばいいと思います。
	18	産業・経済	私は、長野の未来は、明るくにぎやかになっていたらいいと思います。もっと楽しい長野になってほしいと思っているので、観光ツアーを提案します。なぜかという、長野を観光すれば、長野を好きになって、住んでみたいと思う人が増えて、明るくにぎやかになると思うからです。

グループ	番号	分野	内容
	19	産業・経済	私は、長野市の未来は、人口がふえて、こまっている事を先に積極的に取り組み、住みやすい長野市になっていたらいいと思います。長野市の人口の変化のグラフを見て、人口が少しずつ減っているのを見て、老人の人口が変わらないから、働く人たちを増やすために、住みやすい長野市になればいいなと思ったので、こまっている所から、解決していけばいいと思います。そういう長野市にするためには、長野市の観光スポットめぐりや、家族みんなで楽しくできる活動などをふやしていけばいいと思います。また、全国に、長野市の魅力ポスターなどをはっていく活動をしていけばいいと思います。
	20	産業・経済	人口が減ると、農業をやる人の数も減ってしまうし、長野のすばらしい伝統をつなぐ人もへってしまうから、こまると思います。だから、もっと楽しいリゾートやイベントをやれば、全国からたくさんの人が来て、人口も増えると思います。
	21	産業・経済	ぼくは、長野市の未来は、もっと人が増えて笑顔があふれるところになったらいいと思います。そのために、長野市の良さをもっと知らせた方が良くと思います。たとえば、中条でやっている文化げいのうのつどいです。そこでは、虫倉太こや小学生、中学生の発表があります。毎年、おおぜいの人たちが来てにぎわっています。もっと県外や長野市以外の県内の人に来てほしいです。そうすれば、長野市の良さを知って長野市に住みたいという人が増えるかも知れません。
	22	産業・経済	ぼくは、長野の未来は、子どもがふえていったらいいと思います。そういう長野市にするためには、大きなアスレチックを長野市に作ったりしてほかの県の人にあそんでもらったらいいと思います。それで他の県の人が長野市にきて子どもも大人もふえると思います。
	23	産業・経済	私は、長野の未来は、にぎわって、いろいろなイベントがあって、楽しい長野になっていったらいいと思います。長野で大きなイベントを開いてほかの県の人にも来てもらって、みりよくを教えてあげて長野にすんでもらいたいです。私の長野の好きな所は、ぜんこうじで、ごかいちょうがおこなわれることです。また、長野の有名な物を売るイベントをやれば長野にたくさんの人が来てくれると思います。たとえばりんごまつりがいいと思います。
	24	産業・経済	人口をへらさないようにするためには次の三つの事を思いました。スポーツやイベントをたくさんする。インターネットやポスターなどでPRする。住む所と働く所を作るという事です。一つ目のスポーツやイベントはサッカーや野球をします。二つ目のPRするには長野のみ力、産業などをPRします。三つ目の住む所と働く所を作るは、移住してきて働く所が無いと、食料を買ったりするお金が無くなってしまいますからです。
	25	産業・経済	私は、人がたくさんいる、長野市になっていたらいいと思います。そうなれば、災害があってもみんなで助けられるし、空き家もふえないと思います。また、長野市でも、観こう客と友達になったり、イベントや、長野に来てもらった人達に、長野のいいことを伝えれば、たくさんすんでくれると思います。
	26	産業・経済	ぼくは、長野の未来は、人がいっぱいいて、にぎやかな所になってほしいです。そのために長野市のみ力を大ぜいの人に、してもらいたいです。ぼくの思う長野市のみ力は、善光寺やぼくが住んでいるいいずな高原など長野市の歴史や自然の良さを、インターネットなどで、県以外の人にも知ってもらいたいです。

グループ	番号	分野	内容
	27	産業・経済	私は、長野の未来は人がたくさんで、いろいろな物をじまんでできる、豊かな市になってほしいと思います。そういう長野市にするためには、長野市のいいところや特産物などを東京や日本中につたえたいと思います。
	28	産業・経済	私は長野の未来が今までと、変わらずに、おいしい食べ物がとれるようになったらいいと思います。長野は全国で2番目にりんごが多くとれる所で、今と変わらずに農業を進めていって、長野に来た人が「長野に住んでみたい」と、思えるようになるといいと思います。そういう長野市にするためには、自分達で出来るはんいで、近くの行事に参加したり、もし、きかいがあったら、ボランティアに参加したりしたいです。
	29	産業・経済	私は、長野の未来は、今の長野の良いところが残って人口もどんどんふえて、にぎやかな長野になってほしいと思います。もっと皆に長野に来てもらうために、スポーツやお祭り、お店などをもっとふやして、PRしていきたいと思いました。長野市をより良く知ってもらうために、イベントや長野市でできる体験会などを開きたいです。
	30	産業・経済	若い人が東京などの都会へ行かないように、若い人を中心にした仕事さがしをてつだったりするイベントを行ったりすればいいと思います。
	1	行政経営	私は、長野の未来は、今、人数の多い地域が活性化しているだけでなく、山間部や田舎の方も活性化して、長野市全体が活性化していったらいいと思います。そう思ったわけは、私の住んでいる地域は、今、過疎化が進んでい、人口や子供の数がどんどん減っていているからです。もちろん長野駅周辺などが盛り上がるのは、長野市にとっていいことだと思います。ですが、「長野市全体の活性化」という言葉のとおり、山間部なども活性化するといいです。そういう長野市にするためには、人を呼びこむ施設が一つあるといいと思います。そうすれば、来てくれた人がその施設のある場所のことも見たり知ったりしてくれると思うし、魅力も知ってくれると思います。これは、山間部だけに言えることじゃなく、長野市全体に言えることだと思います。
	2	保健・福祉	10年後の長野市は、もっと医療に特化した市になってほしいなと思います。長野市のホームページを見てみると、医療に関する講座や、薬や感染症の注意などのページが多くあり、驚きました。このような活動ページを知っている市民が、どれだけいるのでしょうか。正直私も、この作文を書かなければ一生知らなかったかもしれません。これらを広めるだけでも、長野市の医療は、大きく変化すると思います。そのために今、私ができることがあるとはあまり思えません。せいぜい、電車では席を譲るというくらいでしょうか。なので私は、今、しっかり勉強して、看護師になり、医療従事者という立場で取り組んでいけることを考えていきたいと思っています。

グループ	番号	分野	内容
	3	保健・福祉	<p>私は、長野の未来は、今よりさらに高齢者の方や、障がい者の方に優しく、安心して暮らせるようになっていたらいいと思います。私が以前取っていた授業の中でノーマライゼーションという授業があり障がい者などさまざまな立場の方々から話を聞く機会がありました。その中で、目の不自由な方が、足の不自由な人や、高齢者の方の設備は整っていても目に関してはあまり設備が整っていないと言っていました。具体的に聞いて見ると、歩いていて現在地が分からなくて場所が知りたい時、外に建っている地図に点字がはってあっても、手が汚れてしまいます。なので音声機能を付けてほしいと言っていました。この話を聞いて、まだまだ完備されていない所があるんだと改めて思いました。そして、みんなが不自由なく暮らせる長野市になればいいと感じました。</p>
	4	環境	<p>私は、長野の未来は、自然が豊かで、そして、人々が楽しく過ごせるような素晴らしいところになっていけばいいと思いました。その理由として、自然が豊かだと、きれいな景色や、また、果物などいろいろなものが育ち、特産物が作られて、それを見た人が長野に住んで、そして、楽しいところになればいいなと思ったからです。最近では、どんどんと少子高齢化が進んで、人口もだんだんと少なくなっていたり、ゴミなどの不法投棄もだんだんと増えていたりしているので、まず、住みやすい環境を作っていくことが大事だと感じました。このような長野市にするためには、まず、ルールをしっかり守るということを第一に思いました。例えば、ゴミをきちんとゴミ箱に捨てれば環境汚染が少なくなるし、川に何か捨てなければ川もきれいになり景観もよくなるはずなので、ルールを守ってもらえるようにしてもらえれば自然もきれいになると思います。</p>
	5	環境	<p>自然との調和を大切にするために、僕はこれからゴミ拾いなどを通じて、自然を少しでも守りたいと思っています。さらに、僕はこれから自然と長野市の調和のとれた未来について考えていくために、もっと勉強したり体験したりしたいです。そうすれば、長野市は今よりもっと過ごしやすい街になると思います。</p>
	6	教育・文化	<p>私は、長野の未来はスポーツを通して老若男女がつながりを持てる、そんな未来になっていたらいいと思います。そう思った理由は、私は小学校3年生から高校までサッカーをしてきました。そこで考えたのはやはり長野のスポーツを盛り上げるために引っ張っていくのは長野が誇るサッカーチーム、「AC長野パルセイロ」だと考えました。スタジアムも新しく、大きくなり素晴らしい施設で熱い戦いが繰り広げられています。では、どうしたら足を運んでもらえるのか。やはり一番は私達若者が、自分の祖母、祖父と一緒に見に行こうと声をかけるのが一番でしょう。親子三代で観戦して、共通の話題をもつ、こんなに素晴らしいことはありません。現在、篠ノ井駅から南長野のスタジアムへシャトルバスが出ています。他の場所からもシャトルバスが出ればいいと思います。これがあるということをもっと広めて、たくさんの人に利用してもらいたいです。</p>

グループ	番号	分野	内容
(2)	7	教育・文化	私は、10年後の長野市の未来の希望として、「英語教育の充実」を挙げたいと思います。今、世界ではグローバル化が目まぐるしく進んでいます。企業への就職を例にとってみても、社内の公用語が英語だったり、TOEIC〇級以上を取得していれば就職が有利だったり、日本国内でも英語の重要性が目に見えています。だからこそ英語力の向上を目指していくべきではないでしょうか。なので、長野市の小学校から英語に触れる機会を増やし、グローバル化に対応する人材を育成していくということが大切になっていくのではないのでしょうか。
	8	教育・文化	私は、長野の未来は、今より多くの若い人たちであふれ、活気のある街になっていたらいいと思います。そういう長野市にするためには、若者の県外への流出をふせぐことが必要だと思います。この問題を引き起こす要因の一つとして、大学の学部、学科の種類の少なさ、特に文系の学部の少なさが原因だと私は思います。少子高齢化の今、医療、看護、福祉は大切なことではありますが、文系の学部、学科を増やすことによって、若者の県外への流出を少しでもふせぐことができると、私は思います。若者の県外への流出をふせぐための対策は数多くあると思います。若者の県外への流出を少しでも減らすことができれば、今よりも若者の人数が増え、今よりもっと活気のあるあふれる、暮らしやすい長野市になると思います。
	9	教育・文化	僕は、自然と本が好きです。そのため、長野市の未来は、今の自然を残しつつ、働ける場所や、図書館があったらいいと思います。
	10	教育・文化	話せる英語をもっと授業で行ってほしい。
	11	産業・経済	僕は、長野の未来は、他の県から、多くの観光客が長野のいい所を知っていたらいいと思います。僕は、特産物などに興味があって、長野の特産物は、たくさんあるのに、多くの特産物や古い建物はあまり知られていないと思い、この事をもっと、全国にアピールすれば今よりもずっと、観光客が来る町になると思ったからです。それを実現するには、まず長野市に住む人が、特産物や歴史的な建物の事を知る必要があると思います。自分の町の事を知っていると、思いこんでいるだけで、本当は、もっと全国にアピール出来る物が、きっとあるはずです。その事を知るために、観光客が気軽に行けて、歴史的な事を学ぶ事の出来る、図書館を提案します。
	12	産業・経済	僕は、長野が少子化の状態を気にせず、働ける人が沢山いて、これからもどんどん発達していくと良いと思います。人口の減少の中心となっているのは、働き盛りの人だということも学んだので、働き盛りの人を、市にとどめたり、来てもらったりして、市内の働き盛りの人を増やすべきだと思います。そのために、何か長野らしい自然などを利用した、楽しめる物や仕事を作ると良いと思います。実際に何か提案するとなると難しいですが、僕は、木材を利用した大きい自然の遊ぶ施設を作ることを提案します。

グループ	番号	分野	内容
	13	産業・経済	僕は、長野の未来は、もっと若い人であふれる長野になってほしいと思っています。若い世代の人がどんどんいなくなっています。その減少をなくすためにぼくは、長野のいいところをPRする「観こうツアー」を提案します。内容には、南長野のスタジアムでの試合観せん、そば打ち体験、りんごのしゅうかく、山をのぼってみたりと、ぼくの学習した長野のいいところをまわっていけるものがいいと思います。その中で、住んでもらえるような家を見てもらったり、今住むと家具をプレゼントするキャンペーンなどで若い世代を引きよせるとよいと思います。
	14	産業・経済	木材を活かした発電施設があればいいと思う。
	15	産業・経済	戸隠の観光施設に駐車場を増やしてほしい。
	16	産業・経済	もう1回来たいと思う付加価値のある施設がほしい。
	17	都市整備	将来、長野は交通の便が良くなり、住みやすく、たくさんの観光客が訪れる活気あふれる所になっていたらいいと思います。現在、私は中山間地域に住んでいます。自然も豊かで休日となればたくさんの人でにぎわいます。しかし、長野市街地から離れており、交通の便がいいとは言えません。複数の要因が重なり、利用率を下げ、公共交通機関を運営する会社が経営に苦しくなり、さらに本数を減らし、運賃を値上げするという負の連鎖が起こると思います。そのような事を改善するには、公共交通機関の利用者を増やし、バスや電車を運営する会社に意見を言って利用しやすくすることが大切だと思います。その為にはよびかけをしたり、月に何回か通勤・通学には公共交通機関を利用する日を設けたら良いのでは、と思います。また、長野市の方から公共交通機関にお願いしていただき、朝の通勤・通学ラッシュ時にはバスの本数を増やしたら、利用客も増えるのではないかと私は考えます。そして何よりも地域の人の意見を聞くためにアンケートをとったりして、どうしたら公共交通機関が利用しやすくなるかを調べ、地域の人や行政、運営会社が一体となって時刻表などを見直すことで交通の便が良くなるのではないのでしょうか。
	1	行政経営	県外の大学に行って、そのまま帰ってこない人を減らすためには、中高生の時期に長野について深く考え、長野に愛着を持つ学生を増やすことが必要であると思います。そのためには、大人たちと同じ舞台の上に立ち、生徒であるということを気にせず討論ができる、そして、討論で出た意見の中で、良いものがあつたら、実際に実行してみる、そのような機会が必要であると思います。
	2	行政経営	山積みの問題を解決していく人材(若者)を育成するために、農業や介護といった現場に携わっている人と、総合して客観的な立場で論じることが重要だと思う。積極的な現状の把握と話し合いを両立する活動をしていくべきだと考える。
	3	行政経営	長野市にある特産品などの食べ物や長野市自体のブランド化を進めていけば長野市がより魅力的なまちになると思います。長野市も軽井沢のように「自然豊かで食べ物がおいしい長野市」というイメージで他の観光場所との差別化を図ることを目標にすれば、食・自然の美しさの面での長野市の質が上がっていくと思います。

グループ	番号	分野	内容
	4	行政経営	私が今、次世代を担う人材を育成するために必要なことは、地域との関わりだと思っています。その一つの方法として、私は、ボランティアがあると思います。私が通う高校では、地域の杏の摘果作業に毎年参加をしています。毎年行われる理由としては、地域の方が信頼をしてくれて、私達高校生にボランティアを依頼して下さっているのではないかと思います。このようなことが地域と学生との「繋がり」なのではないかと思います。多くの学生がボランティアに参加することが、地域の活性化、そして学生もたくさんの経験ができ、様々な道への選択肢が増えて、社会への視野が広がると思います。
	5	行政経営	長野工業も結構ボランティアに参加しています。まわりが、高校生がボランティアをやっているということを知ってもらうのが大切だと思います。
	6	行政経営	高校生同士で話をする機会を増やしていければ、高校同士の壁もなくなって、一緒に地域の高校生として、ボランティアやいろいろなことを行っていければと思います。そして、これを進路に悩んでいる中学生などに情報を発信していけば、高校のことも分かり、興味を持てると思います。また、地域の企業も、高校の情報が得られて、この高校にはこのような人材がいるといったことが分かり、県外からも興味を持ってもらえると思います。
	7	保健・福祉	仕事に就いている母親が育児休暇中でも、育児休暇が終わったあとも、四六時中、子どもの面倒を見るのは難しいので、子どもを預かってくれる施設をもっと増やしていくべきだと思う。
	8	防災・安全	地震や風水害などへの対策は常に市や市民の方々によって考えられてきていると思います。しかし、自然災害への対策はなされていても、「人災」といわれる災害への対策はあまりないように思われます。私が提案したいのは、市民の方々が「人災」につながる可能性のある危険を発見した際に連絡できる場を設けることです。大げさかもしれませんが、危機管理センターとでもいえばいいのでしょうか。例えばですが、ボランティアの方々に交替で常駐して頂き、電話なりメールなりツイッターなりで市民の方々から情報があつた場合は、その情報の事実を確認後、情報公開し、それぞれの危険の内容にあわせて担当と思われる部署へ連絡して頂く。少しでも不安に思ったことに対して早い段階で対処できれば、大きな危険の芽を摘むことができると思います。そのための危機管理センターです。そうした危険情報を集めることで人災に対する市民の方々、特にSNSを利用している若い世代の意識も高まるのではないのでしょうか。
	9	防災・安全	安全な町とは何かと考えると犯罪や事故の少ない町のことを指すと思いました。犯罪や事故が少ない町を実現させるのに有効なのが防犯カメラです。防犯カメラを街頭や交差点の設置数を増やし24時間監視することを提案します。街頭や交差点に防犯カメラを設置すると以下のような効果が期待されます。 ・強盗や傷害などでの犯罪捜査にも大いに役立つ。 ・急病人を早期に発見し、救急医療の依頼ができる。
	10	教育・文化	○次世代を担う人材を育成するためには ・大学生になると県外の大学に流れてしまうから、流れないようにするために、市内の大学に様々な学部を創る。そして、県外から来る大学生が安心して暮らせるように大学は不動産と住まいを提供する→大学生は市内で就職する ・市内の高校生と県外の高校生が企業と提携して、商品や飲食などを一緒に作る

グループ	番号	分野	内容
(3)	11	教育・文化	人口を増やすため一番の近道は、人口流出を防ぐことです。しかし、人口流出の一番の原因は私たち高校生の学校卒業後の進路先が大きく関わってくるのではないかと思います。優秀な大学を求め県外へ行く人、自分に合った就職先を求め県外へ行く人…こういった人たちを長野県内で循環できるようなシステムを作るべきだと感じます。そのためには、現在、定員割れしている県内の大学を特色のある(長野にしかない)優れた大学にしたり、若者の働く場所を増やしたりすれば、そのやりがいや魅力を求めて自然と人口が増えるのではないのでしょうか。
	12	教育・文化	スポーツには、応援している人を一つにする力があるので、AC長野パルセイロを中心としたまちづくりを考えた。コンビニで定員さんが、パルセイロのTシャツを着て仕事をしているのを見たことがある。これを駅の職員さんにも着ていただいたり、プロ野球のチームが行っていることで、マンホールをチームのデザインに(エンブレムをプリント)してしまうなど。また、福祉の面では、パルセイロは地域貢献活動を行っている。その一つとして、例えば優勝した数、ゴールを決めた数だけ、高齢者施設に車イスを寄付することによって、高齢者の方からも、興味を持っていただけたと思った。
	13	教育・文化	僕が提案することは、長野市を外国の方との交流しやすい場所にするということです。長野市でいろんな国からの外国人と交流できる場所を用意してもらいたいと思います。内容としては、年齢に関係なく誰もが利用でき、英会話の上達にもつながって世界を知れるものが良いです。この提案には協力してくださる外国人の方が必要ですし、ある程度英語の話せる日本人スタッフも重要です。そのあたりを配慮しなければなりません、実現してくださると嬉しいです。
	14	教育・文化	○国際交流を推進するためには 最近の傾向として、学生の海外に対する興味は薄れつつあります。その例として、ここ数年、日本から海外への留学者数が減っています。留学を希望しない理由として、「言葉の壁」や「経済的に厳しい」といった問題がアンケート結果から分かってきました。これらの問題を解決することが国際交流を推進するために必要だと考えました。言葉の壁を解消する案として、まず、外国語をしゃべることへの抵抗やためらいをなくす必要があると考えます。そのために、まず、学校で先生が英語のみで授業で生徒に英語を慣れさせ、生徒に社会に出ても「使える英語」を教えていくべきだと思います。また、教えるだけでなく、できるだけ多くの外国語を使う実践の場を設けてもらいたい。経済的に厳しいという問題を解消するために、海外に留学をしたい人のための補助金制度のしくみを整備していただきたいです。補助金制度以外にも、学生がボランティアなどの目的で海外に行けるような機会を作ってほしいです。
	15	産業・経済	長野市民全体が、オリンピック開催都市長野を誇れるまちづくりをしていくべきである。今回のテーマは、10年後の長野市の姿であるが、5年後の2020年に2回目の東京オリンピックが開催される。5年後の2020年を視野に長野を盛り上げていき、東京オリンピックを契機に、その先も発展しつづける長野にしていくための政策が必要であると思う。まず、スポーツ・文化・芸術など知的財産に対する付加価値を上げることである。例えば、オリンピック会場である、各アリーナ、善光寺、松代、周辺の自然、長野マラソン、灯明まつりなど、それぞれが独立して売り込んでいくのではなく、すべてをリンクさせ、長野が一つに感じられるような大きなイベントや取組、企画、発信を強化していくことだと思う。今回、私がこの提案で、一番大事にしたい点として、人はキーワードであると思う。何をすることも人は欠かせないと思う。長野に来て、人と交流し、また来てもらったり、そのまま長野に住んでもらったりと、とにかく人との関わりが持てる機会をつくりたい。

グループ	番号	分野	内容
	16	産業・経済	<p>長野市を目的として来てもらうためには、長野市の魅力をアピールした「地域おこし」が必要になると考える。また、これを行うにあたって、現在の中高生をターゲットにすることによって、市のイメージ向上、今後の人口増加にも関わってくるのではないかと考える。</p> <p>※現在、長野市でも計画中の地域おこし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松代と人気アニメ。映画のコラボ(これに関しては、シーンが限定されているので盛り上がりには欠けるのではないとも言われる) <p>《長野市と言ったら〇〇を目指す一企業の企画を市がサポート》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこしをするにあたって重要なことは、地元企業ときちんと連携することだと考える。大きな企業だけでなく、大型スーパー等の勢力面で押されつつある小型商店等をPRしなければ地域おこしの意味はない。 ・地域おこしをやるならば、地元企業、商店を、そこから離れている若者をターゲットに持ち上げていくことが大切。
	17	産業・経済	<p>○多くの人たちに長野市を訪れてもらうためにはより気軽に長野市を訪れてもらい、長野市の良さを知ってもらう。そこで私が考えた案は、「長野市自然体験ツアー」です。素晴らしい自然は長野市の大切な財産です。これは、自然を活かしたものです。都会や県内の人に自然の中で、きれいな川で遊び、土に触れ、生き物に触れ、長野市で育てられたおいしい食を味わってもらう。社会が発展していくからこそ、自然や自然と触れ合うということが大切になっていくと思います。</p>
	18	産業・経済	<p>○多くの人たちに長野市を訪れてもらうためには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的なイベントやスポーツ部活などの大会をもっと多く長野でやる→長野の魅力を知ってもらう ・長野市を舞台にした映画やドラマを創る ・長野市のアンテナショップを東京だけでなく全国的に配置させる→長野市をPRさせる。アンテナショップを設立したことにより、長野市を訪れてもらう ・登山ツアーなどをする
	19	産業・経済	<p>より多くの世代をターゲットにできる“新しいもの”を作ってみてはいかがでしょうか。例えば、今まで長野市が行ったことのない形で既存のものをPRすることが良いと思います。長野市の代表的な既存のものといえば「善光寺」が有名です。この長野市にある国宝を、今以上に活かしてPRする必要があると感じます。例えば、国宝にプロジェクションマッピングを取り入れてみてはいかがでしょうか。</p>
	20	産業・経済	<p>長野市が観光地としてよりよい場所となるためには、「長野市を訪れてくれるお客さんへのおもてなしの充実について」です。観光について言えば、その場所にある観光資源も長野市を訪れるきっかけにはとても大切だと思いますが、それよりもっと大事なことは、そこに住んでいる地域の人々の魅力、おもてなしの力だと思います。長野市の地域の人々の魅力が伝わるよう観光事業に地域の人と接することができる体験イベント等をより多く盛り込んだりして、地域との関わりを密接にしていけば、もっと魅力的な長野市になると思います。</p>
	21	産業・経済	<p>スポーツやオリンピック関係でもっと充実させていけば良いという話があったが、アクアウイングは日本でも有数の素晴らしい施設で世界基準にもなっています。なのでもっと、国際大会を開くべきだと思っていました。国際大会を開いて有名な選手が来れば長野市の活性化につながると思います。</p>

グループ	番号	分野	内容
	22	都市整備	個人的な希望としては、ぜひ、今のこの長野市の風情ある景観を大切にしていってほしいなと思います。10年後、20年後もこの自然に囲まれて、自然と調和したまちであってほしいと思います。
	23	都市整備	私は信州新町に住んでいる。数年前に合併したが、家族で会話した時に交通手段が不便だという話になった。長野市全体の交通手段が便利になってくれたらと思っている。
	24	都市整備	自分は信更町に住んでいる。数年で一気に人口が減って、小学校が閉校になってしまった。このように人口が減る中でどうやって長野市を活性化させるか考えた。その一つの案としては、公共交通機関を利用しやすくして、市内の施設などをたくさん利用してもらうということを考えた。最近改修した南長野運動公園のサッカー場や大きなイベントができるところへの交通の手段を増やして、長野市内から人の動きを多くしていくことから活性化をはじめていけばいいと思う。その後、県外からの人の動きを多くすることで長野市が活性化していくと思う。
1		保健・福祉	<p>私が考える10年後の望ましい姿長野市は、現在よりもっと高齢者が生き生きと暮らせる街です。私の祖母は、今、老人性うつから認知症を患っています。認知症の原因は様々だと思いますが、老人性うつからの認知症は予防できると思います。人は幸福感を感じると脳が活性化するそうです。幸福感を得るためには、人の役に立つ、人との繋がりを持つ、自分の存在を感じることです。老人性うつにならないためには孤独で寂しい思いをしない生活を送ることが大事だと思います。そのために、地域の高齢者の方たちが誰でも集まれる施設を作ってほしいと思いました。対象者は介護保険の対象になっていない高齢者の方で、施設内は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで料理をするための調理室がある。ガスは危ないので電気にする。 ・お茶室にもなる和室がある。 ・小さな畑を用意する。 ・体操やゲームが出来るフロアでみんなでおしゃべりできる空間がある。 ・施設内で食料品や日用品が買えるようなお店があるなどです。 <p>家では一人の方でも、この施設に来れば人との繋がりを持てると思います。このような施設に介護士などだけでなく、医療面でも支えられる作業療法士も配置することで、さらに認知症の予防や、身体の衰えの予防にもつながると思います。雇用面でも就業率が上がります。また、その施設の隣に幼稚園などを設置すれば、その施設に来ている高齢者の方たちは同年代の人との交流だけでなくさまざまな年齢層の人とも交流することができ、さらに元気になれると思います。これからは若くて元気な高齢者の方たちが増えてくると思うので、このような施設ができれば、市の活性化にもつながりますし、介護などを必要とせずに自立的に生活ができる生存期間である健康寿命が延び、これからもずっと日本一長生きの県という素晴らしいことを維持できると思います。資金面など難しいと思いますが、誰でも気軽に参加でき、みんなが元気で、生きがいのある生活を送れるような施設を作ってほしいと思います。</p>

グループ	番号	分野	内容
	2	保健・福祉	<p>私は市外に住んでいて、今回は外から見た長野市について提案したいと思う。</p> <p>長野市内の会社の話だが、いまだに育児休暇を取りたいと言うと、会社からの反応はあまり良くなく、取りにくい環境になっているとのことである。市のホームページを見ると、育児休暇を使っている企業があれば、20万円もらえるといった制度があるが、それだけではなく、ポスターやTVCM等で育児休暇を取るべきだといったものを作ってもらわないと、いまだにとりづらい企業もあるので、育児休暇奨励の強化が必要だと考える。次に幼稚園・保育園の改善についてである。市のホームページで待機児童なし、保育料徴収基準額の約28%軽減をしているのは分かったが、私の住んでいる市のある保育園では病児保育をしており、ある程度熱がでてでも保育園側で預かってもらえるということだ。なので、多くの幼稚園・保育園で病児保育を利用できれば、もっと女性は働きやすくなるのではないかと思う。</p>
	3	保健・福祉	<p>○食生活、特に食塩を健康的にとるために</p> <p>「日本人の食事摂取基準」が2015年度より改定され、生活習慣病の予防を目的とした食塩摂取量の目標量が、成人男性は1日9.0gから8.0g未満、成人女性は1日7.5gから7.0未満とそれぞれ1gと0.5g減っています。しかし、1日の塩分摂取量といっても、自分がどれだけ食塩を摂っているのかは、分かりづらいものです。市内の栄養表示がしてあるお店はまだ少なく、もっと増えれば便利だと思います。また、日頃食べているパンやお菓子などの加工食品にも栄養表示がしてありますが、もっと関心を持つ人が増える必要を感じます。例えば栄養の表示を色々な人に、分かりやすく表記したものをつくり、配布するのはどうでしょうか。外出時に簡単にお財布の中に入れ、手軽に持ち運べたり、家庭の台所や、食堂などで見やすい所に貼ったりできる、小さいカードやワッペン、冊子のようなものをつくるのも一つの方法ではないかと思います。それから、長野市内で加工食品を製造しており、栄養表示をしている会社には、ナトリウムの表記に加え、食塩を分かりやすく、g(グラム)で表示していただければ、食塩摂取量が長野市の目標値に更に近づくのではないのでしょうか。そして、生活習慣病の発症や重症化が相当防ぐことができるのではないかと思います。</p>
	4	防災・安全	<p>○交通事故や交通違反のない安全な長野市にするには</p> <p>自動車に対しては、様々な場所で頻繁に取り締まりが行われていれば、自然と安全な運転が意識づけられると考える。自転車でも、交通ルールを守っていない人を見かける。何が違反になるか知らない人もいると思う。自転車で出歩くようになる小学生のうちから、自転車のルールを教育し、中学校や高校では道路交通法の内容を確認することが重要だ。また、自動車同様、自転車の交通違反に対する取り締まりも強化するべきだ。歩行者では、横断歩道でないところを、車が来ないか確認せずに横断している高齢者をよく見る。高齢者が絡む事故は多発している。事故を防ぐためにも、高齢者への交通安全の呼びかけの強化や、自動車側の、高齢者への注意を払った運転が重要だ。交通手段に関わらず、交通安全の意識を高めることが必要だが、そのためには誰もが意識できる交通安全対策が重要である(テレビなどのCMで交通安全を呼びかける、ローカルニュースで地域の交通事故の状況を取り上げるなど)。以上のような取り組みをして、交通事故や交通違反のない長野市をつくっていききたい。</p>

グループ	番号	分野	内容
(4)	5	教育・文化	<p>長野市はスポーツを通じて市民をより元気にして、子供から大人、更には高齢者になってからも生き生きと暮らせる社会を目指していけばいいのではないかと考えた。その手段として、「ニュースポーツのイベント」を開催することである。しかし、ニュースポーツは浸透しておらず、専用の道具も必要になったりするので、やろうと思ってもすぐにできるものではない。そこで、様々なニュースポーツを体験できる大きなイベントを開催するのはどうかと考えた。体験後に参加者から「どのニュースポーツをもっとやりたいと思ったか」アンケートをとり、回答数が多かったニュースポーツを、一定期間、市内の一部の施設で扱い、一回きりではなく、何度も楽しめるような環境をつくればいいと思う。また、ニュースポーツは、幅広い層の人たちが楽しめるように作られたものが多いので、世代を超えての交流も図られるのではないかと思う。</p>
	6	教育・文化	<p>「次世代を担う人材を育成するためには」というテーマで取り上げる問題は何かと考えたときに、私達の年代やそれより若い年代が、就職に関してや将来への不安が多くあるのではないかと思います。そんな不安などを取り除くために、私は社会人と私達学生や若い人達が気軽に話せる機会を設けたらいいのではないかと考えています。様々な年代の方を集めて社会に対する不安、実際はそうじゃないんだよと教えていただければ、もっと社会に対して前向きになれたり働くことへの意識への向上が見られるのではないかと思います。その活動が活発になることで学生達のこれからを見据える力や自分の考えを形にできる力が身に付いて次世代を担う人材へと変わっていきけるのではないかと思います。</p>
	7	産業・経済	<p>私は今回、長野市を訪れてもらうにはという観点と長野市に人を増やすためにはという観点で考えてきた。</p> <p>長野市を訪れてもらうにはという観点から考えたのは、一つ目は公共交通機関の充実である。範囲や本数を増やしてほしいというのはもちろんであるが、駅の中の案内表示を分かりやすくしてほしいと思う(日本語・英語)。もう一つが車内アナウンスで、日本語だけでなく、英語でも車内アナウンスをしてくれたらいいなと思った。それに加えて、各停車駅ごとに観光ポイントをアナウンスするのは、長野市を訪れる方に良い観光材料になるのではないかと思った。二つ目はイベントを増やしてほしいということである。今あるお祭りやイベントは年齢対象が高いと思う(例えば、御開帳や花回廊)。若者も楽しめるイベントをしてほしいと思った。具体的に考えたのは、都市部ではまちや海を利用したアクティビティが流行しているので、長野も山という観光材料があるので、山を利用したアスレチックのアクティビティやキャンプ場を利用したフェスなどで、まわりの経済も活性化していけたらと考える。長野市に人を増やすためにはという観点から考えたのは、一つ目は職の幅を広げるということである。今まで都市部でも発展していた職を長野でも出来るようになったらと思う。二つ目は雇用の安定と充実である。育休を男女共にしっかり取れるということと、以前、長野で農業をしたいという方のお話を聞く機会があったが、長野に来る勇気がなくて移住を決意できないということだったので、市としての支援を、特に農業をしたいという方々にお願いしたいと思った。三つ目は情報提供である。まず、移住者向けに長野での暮らしに関する情報を情報提供してほしいと思った。また、市外や県外に進学した人向けに、県内に戻ってくるための就職情報を、市から発信してくれたらいいのではないかと思う。この情報提供に関しては、インターネットのみならず、若い世代はSNSを利用することが多いのでSNSや、せっかく銀座NAGANOがあるので、そこで情報提供してほしいと思った。</p>

グループ	番号	分野	内容
	8	産業・経済	<p>今後多くの人たちに長野市を訪れてもらうために、各地域資源を交通の面だけではなく、情報共有・発信の面でもネットワーク化させることが重要だと思えます。これまでの、ひとつひとつの拠点だけをPRしていくという方法は少し弱いと感じます。拠点ごとに来街者を増やすということよりも回遊として、一か所を目的として、例えば善光寺へ参拝にきた方が参拝をして周辺を少し見ただけで帰ってしまうといったものを、今日は善光寺へ参拝に行き、一泊して次の日は戸隠に行ってみよう、と思ってもらえる方法が必要だと思えます。そのための方法として、若者中心に人を集めていくならFacebook等のSNSを利用したPRが有効だと考えます。各拠点をチェックポイントのようなものにする等のイベントを行うなど、より楽しく回遊出来るようにできたら良いと思えます。また、現在長野市で問題視されている空き家の有効活用として、それらを改修し宿泊施設として利用するというのはどうでしょうか。昔ながらの建築であるものも多いと思うので、特に外国人観光客の方などには喜ばれるのではないのでしょうか。そしてその経験によって長野市に住んでみたいと思ってもらえたらなお良いと思えます。</p>
	9	産業・経済	<p>これは観光面にも絡めてだが、自転車に乗って巡るスタンプラリー形式のイベントを開催するのを提案する。長野市各地の名所にスポットを設け、自転車に乗ってスタンプを集めてもらう。スタンプの景品は(数に応じて)、地元の特産品や施設(宿泊施設なども)の割引券、また、スタンプを全て集めた人には賞状(長野市を知りつくした証)などを贈呈してはどうかと思う。そうすれば、観光目的で来られた方にも、善光寺以外の場所にも目を向けてもらいやすい。また、移動途中では、休憩場所として地域のお店を利用してもらえないかと思う。</p>
	10	産業・経済	<p>長野は県全体で見ても山々に囲まれている。豊かな自然が身近にある反面、他県を相手にした物流という点では不利に働く要素がある。そのような中で私が良いと思うのは、物流を伴わない産業。例えば、インターネットを活用していくことが産業としては良いのではないかと思う。この物流を伴わない産業とは情報やデザインを扱うようなIT産業に目を向けていただければと思う。世界を相手にするといったことも視野に入れるのも、インターネットを活用した産業のいいところだと思う。世界的な大企業の誘致に成功すれば、海外相手の仕事が増えて、結果的に国際交流を活性化させることにも繋がると思う。また、大企業を誘致することは、県外からその企業に就職するを目指して集まってきたり、支社を置く際には、他の県や国から移住者も増える。これを実現する為の提案は、(1)海外を相手に出来るような企業に対しての誘致キャンペーン(2)新たに入ってくることに魅力を感じるような金銭的支援、事務所や土地の斡旋、税的な優遇(3)新たに入ってくる人を受け入れる集合住宅などの建設である。私は、10年後の長野市の姿は、「様々な人々や情報が集まり、新しい事に挑戦できる許容性の高い都市」であれば良いと考える。</p>

グループ	番号	分野	内容
	11	都市整備	<p>○中心市街地の空地の景観デザインによる活性化 善光寺と長野市を中心とする中心市街地は古くから門前町として栄えてきました。しかし、近年は他の地方都市同様、空き地や空き店舗が増える空洞化が見られるようになりました。特に、空き地をそのままにしておくのではなく、駐車場として存在している場所もあり、これは様々な大きさ、形状で点在しています。この現状は景観的にも環境的にも良いとは言えません。そこで、空き地をデザインし、統一感を持たせたり、緑を増やすことで景観はよくなり人のたまりばとなり長野市の新しい魅力となっていく計画を提案します。まず、中央通り沿いの空き地を調査しました。その中で道路に面している間口の大きさと奥行きの大きさ、立地(角地かどうか)で4つのタイプに分けました。それぞれ、緑化し公園化することを基本に、公園(あるいは歩道)と駐車場の調和をさせるデザインを考えてみました。こういった場所を増やしていけば、市民と観光客の交流など、人の流れが生まれます。更に県産材を使えばデザインの統一と林業の活性にもつながられると思います。また、こういった緑地を増やしていくことでヒートアイランドの抑制にもつながると考えています。このような駐車場が増えていくことで、長野らしさや憩いの場が増えていくということを考えました。</p>
	12	都市整備	<p>気になるお店や歩いてみたくなるような街路・景観があることで、来街者が駅から歩いて観光や買い物をしながら目的地に向かってくれるようになり、地域資源の周辺のまちの活性化にもつながると思います。長野市であれば、善光寺に参拝に来た方が車で直接善光寺まで行ってしまわずに、電車やバスで長野駅まで来て中央通りなどの中心市街地を回遊しながら歩いて善光寺まで向かってもらえるようにできれば良いと思います。現在、善光寺からトイゴまでの区間で実施された歩行者優先道路化は、研究の調査からも来街者の回遊に関し良い影響を与えている事が分かっています。このことから、トイゴから長野駅の区間でも同じように歩行者優先化を行うことで、交通拠点である長野駅と主な観光拠点である善光寺までの通りにつながりを持たせ、公共交通機関を利用して訪れた人が少し遠いけど歩いてみようかなと思うようなものにできたらよいのではないかと考えます。</p>
	13	都市整備	<p>公共交通機関の改善について、都会のほうで使われているsuicaを長野県でも使えるようになればと思う。東京への往復も便利になると思う。また、電車料金の軽減についてであるが、長野電鉄は私鉄の中で3番目に金額が高いと聞いている。それにより利用者が少なくなっていると感じているので、多少金額が抑えられれば、普段利用できない人も、もっと利用しやすくなるのではないかなと思う。</p>
	14	都市整備	<p>より気軽に運動を楽しむために、また、通勤・通学で自転車を利用する人も多いため、自転車専用レーンの整備を挙げたいと思う。自転車はこれからもっと必要になっていく乗り物だと思うので、より快適に自転車が乗ることができるようになればと考えた。例えば、一般道の自転車専用レーンを増やしたり、広げることである。また、でこぼこしている道路を平らに舗装して「自転車にやさしい街」をつくれれば良いと思う。</p>

各種団体からの「10年後の長野市の姿」提案募集について

1 募集方法

市の施策を実施していく上で関わりが強く、市内を中心に活動している80団体へ郵送により趣旨を説明し、提案を募集したもの

2 募集期間

平成27年6月1日から6月30日まで

3 提案件数

53提案(40団体)

4 提案内容(抜粋)

番号	分野	内容
1	行政経営	住民ニーズにこたえた「活き生き」した運営を柱とし、それを支える枝として各区ごとの公民館の「まちの元気印」の活動を充実させる。公民館が地域発の人づくりの拠点となり、共助・共働の自治組織が充実しよう。
2	行政経営	◎地域の実態と特色を生かしたまちづくり ○都市内分権の推進 ○住民自治協議会の自主的・主体的・創造的な活動と運営 ○それぞれの住民組織の充実と自治、交流・協力・連携
3	保健・福祉	「子ども達ひとり一人が生き生きと生活ができる子育てしやすい環境の街」 ○生活の貧困の解消 ○心の貧困の解消 ○教育の貧困の解消
4	保健・福祉	『子育て環境日本一』を目指し、整える ○移住誘導をする ⇒ 子育て世代の増加 ○出生率を増加させる ⇒ 年少人口の維持から増加へ
5	保健・福祉	10年後の長野市は各種のインフラの改善が進んで、障害者を始め、高齢者、妊婦、病気がちの人、子ども等々、体力的な社会的弱者にとって社会参加がより優しく、生活のしやすい社会であることが望まれる。 一方、このような社会を力強く実現していくためには、行政の組織のあり方についても新たな対応が求められているのではないかと考える。
6	保健・福祉	長野市が取り組む政策は全て「健康都市宣言」のフィルターを通して推進していくこととする、結果として医療費をはじめ、福祉関連に関わる財政負担を軽減でき活力ある都市機能が発揮され、住み良い地域としての評価が得られるものと考えられる。
7	保健・福祉	長野市内のいたるところで、子ども達の健康状態や発育状態が把握でき、いつでも無料でたずねることができる学校保健室のような施設が充実している、そのような10年後の長野市の姿を提案します。

番号	分野	内容
8	保健・福祉	<p>○少子・高齢化社会を迎えるなか、高齢者が生きがいをもって豊かに暮らせる長野市を目指し、退職高齢者等のボランティア・インセンティブ制度の導入を提案します。</p> <p>○健診受診率向上や健康増進を図り、高齢になっても生き生きと豊かに暮らせる長野市を目指し、保険者努力支援制度やヘルスケアポイント付与などの導入を提案します。</p> <p>○長野市域に看護大学の設立を提案いたします。</p> <p>○子育て世代包括支援センター機能の充実、保育所無料化、18歳までの医療費無料化等市民にとって目に見える形の大胆な施策を実行し、県内トップレベルの子育て支援都市を実現する。</p> <p>○社会・医療ニーズの変化する中で10年後に長野市民への質の高い医療を提供するため、施設の老朽化・敷地の狭隘化が進んだ地域基幹病院の施設改善を含めた救急医療・地域医療・療養環境の整備を進めていくことが必要です。</p>
9	保健・福祉	<p>○老人(高齢者)クラブ活動の基盤強化</p> <p>○高齢者介護施設の充実</p>
10	保健・福祉	<p>子育て支援 市内に3つ目の”こども広場”の開設を！！</p>
11	保健・福祉	<p>すべての市民が病気や障害を負っても、助け合い・支え合いながら、安心して心豊かに暮らしていける長野市</p> <p>団塊の世代が後期高齢者となる10年後の2025年市民のほぼ半数は複数の疾病や障害を負いながらもお互いに助け合いながら安心して心豊かに暮らしていける社会を目指す。</p>
12	保健・福祉	<p>○日本一子育てに優しい市にしていきたい。</p> <p>○あたたかな家族づくりを理想として、子育て幼児教育、保育を大切にすゝる気風を養い、市民を挙げての子育て応援体制ができればと願っております。</p>
13	保健・福祉	<p>○労働人口の減少に伴う高齢者の活用</p> <p>○高齢者の貧困対策</p>
14	保健・福祉	<p>今以上に早期発見、早期治療が進むよう、関係機関の連携による健康づくりの定着</p>
15	保健・福祉	<p>○高齢化の進む今日、健康・自立に住民全員で取組むと共に、市民は「自助・互助・共助」の精神で万事に取組む住民意識の啓発と風土作りの推進に……</p> <p>○検診、介護の推進も大事ですが「健康寿命」の趣旨も住民皆が日常生活中で考え理解を深める学習会等の推進に取組んでは……</p> <p>○高齢化が進み各事業(特に人的必要な)は必要最小限にとどめ事業費を多方面にまわしては……たとえば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Uターン、Iターン者や市内への就業者、入居者などへの支援…… ・在宅介護者家庭の住宅改造・設備の改修などの支援…… ・ボランティア事業などへの支援……
16	保健・福祉	<p>高齢者が元気で「介護」の世話にならない活力に満ちた長野市を創りたい</p>
17	環境	<p>「全ての施策に環境の屋根をかける」が実現されている</p>
18	防災・安全	<p>高齢者が「元気で、長生きのできる」活動の充実を目指して家に閉じこもりがちな高齢者が自主的・積極的に参加できる環境と活動の場の構築を提案します。</p>

番号	分野	内容
19	防災・安全	人口推計を見ますと、今後ますます少子高齢化が進み総人口も減少していく中、犯罪を防ぐ「防犯」という観念をもっと一般に広く啓蒙し、「自分の身は自分で守る。」困った時は家族他近所で助け合う。」という意識の定着を図られたらと思います。
20	防災・安全	地域の人々が互いに手を取り合い、協調し合える社会であるべきではないかと考えます。また、そうした地域であれば災害が発生したとしても互いに助け合うことで乗り越えられるのではないのでしょうか。
21	防災・安全	10年後の長野市の将来像ということで、長野市の各地区の公民館、住自協それぞれの強みを生かして地区住民の方々の思いを吸い上げ、課題解決や魅力発信の事業を展開していけるような体制を時間をかけて作り上げて行くことが重要であると思います。このような体制づくりに通して、10年後の長野市は、地区住民で運営する住自協・公民館が中心となり、防災を中心にまちづくりを実践していくことができるのが理想です。
22	防災・安全	○各住民自治協議会組織編成の見直し ○高齢者安全対策の推進 ○防犯機器の設置促進
23	教育・文化	長野市は歴史的にみて、善光寺とともに開けた門前町としての大きな特徴をもっている。そこで長野市一帯を祈りの里とし、文化都市宣言をして世界平和と人々の安寧をこの地から発信していくことにより長野市の存在価値高めることができると思われる。
24	教育・文化	社会の変化に対応して公民館活動を見直す中で、講座の受講者に呼び掛け、そこで培った力や人の繋がりを活用できるような有償・無償のボランティア活動を提案・推奨できるようにすること。
25	教育・文化	小学校・中学校の運動場の活用
26	教育・文化	現在「しなのきプラン29」の中でも言われている中で、学校・家庭・地域の連携が言われている。 10年後になった時には学校規模の大小に関係なくこの地域・学校においてもしっかりした連携が取れている状況になっていることを願う。
27	教育・文化	スポーツで賑わう都市に 1年を通じてスポーツで賑わう都市をめざしていくことが、長野市が元気になるためには必要だと思われる。
28	教育・文化	10年後の長野市もっと国際都市で有ってほしい。 それには、緑豊かで、自然に富、人々がどこに居ても脈々と生きている都市になれば良いですね。 その為の各国との交流窓口を中山間地に作る。
29	教育・文化	10年後の長野市の姿として、「住民と共にまちづくりを行い幅広い年代のスポーツ参加割合の増加、延いては健康寿命の促進、スポーツから元気になる長野市、国内でも数少ないオリンピック開催都市としてのスポーツの取組をアピールし、輝ける長野市」というものを将来像として提案します。
30	教育・文化	ハード面においては、行政の弊害ともいわれる縦割りを解消し市内全体の施設を視野に、スポーツ施設の再整備計画を立て、実行することが必要です。 ソフト面においては、総合型地域スポーツクラブなどを支援するための施策の策定・実施、条例の改正・制定、各種補助制度の見直し・新設などの検討が必要です。

番号	分野	内容
31	教育・文化	平成28年の長野市芸術館開館を機に、市内各ホールでは国内外からの良質な公演が展開され、市民はもとより全国各地、世界中から公演を楽しむのに併せて観光で多くの人々が訪れる。 フェスティバル期間中に長期滞在するアーティストと市内外からの聴衆との交流により、街がにぎわう。
32	産業・経済	産業振興ビジョン振興計画(雇用促進計画)の基本方針「勤労者が心身ともに健康で働くことができるための勤労者福祉の充実」施策について、継続した事業展開が望まれます。
33	産業・経済	農業振興、後継者育成対策
34	産業・経済	○観光資源創出対策 ○地域活性化及び人口減少対策
35	産業・経済	○観光客が訪れてみたくなる街づくり ○農商工連携と農業への企業参入の促進による地域活性化
36	産業・経済	長野市で以前から栽培されている果実、野菜及び米についての生産技術の改良やブランド化を更に進め、一定量で高収益が得られる安定した産業を目指す。
37	産業・経済	都市部と中山間地の健康交流が続くまちを目指してはどうか。
38	都市整備・土地利用	町並・景観等について「美しい」と感ずる事のできる美意識の高い都市作りを行う。 中山間地域においても同様の整備がされれば多くの人々が訪れる長野市となると思う。
39	都市整備・土地利用	人口減少時代にあってはコンパクトな都市を目指すべきである。その為には機能の集約化が必要である。しかし住民の利便性を損なうことはできないので、効率的な公共交通体系が重要となるが、自治体として積極的に関わっていくことが必要である。
40	都市整備・土地利用	公共交通機関の充実した市
41	都市整備・土地利用	○多核心連携を目指したコンパクトなまちづくり ○交通体系の整備 ○「移動権」と公共交通
42	都市整備・土地利用	山間地は、狭隘な傾斜地であり、機械力の利用も不適である。そのため農業の拡大や変革、改革などできず発展もできないまま遅れてきたといえる。 そこで、地形を変え新しい視点に立った農地をつくることである。周辺山間地が特色ある野菜栽培ができる、野菜団地にすることである。現在の山間地の荒廃地、傾斜地の有効な土地利用である。 この土地の有効利用により、若者の農業に対する意欲が増し農業に取り組む人が多くなる。若者の農業への取り組みは、若者が定着することになり、山間地の人口増加になる。また、Iターン、Uターンの人口も増える。
43	都市整備・土地利用	用途地域、特に農用地(調整区域)の見直しをし、10年後の土地利用計画を基に農地として保全・活用すべき場所・地域を時代に合ったものとする。
44	都市整備・土地利用	○中央通りを善光寺表参道としてさらに際立たせる ○長野らしい理想のオフィス街をつくる ○長野市らしい理想の住宅地をつくる ○耕作放棄地、空き家を創造性をはぐくむ場所とする ○公共施設のスケールを大きくしない

番号	分野	内容
45	都市整備・土地利用	<p>長野市を訪れる観光客の長野市周辺観光ルートへの出発地点として、長野駅東口から近隣の観光地へ放射状に伸びた交通網が整備され、観光バスや関東・関西方面への中長距離バスの発着所の拠点となる「国際観光ハブターミナル」としての「複合バスターミナル」が完成しています。観光客に対する利便性に一層配慮した「おもてなし」の心を持った「複合バスターミナル」です。</p> <p>その「複合バスターミナル」は、長野県・長野市の地場産業・土産物等の長野市商工の全てをアピールできる、産業観光会館の機能と長野市の物産品の展示・販売や観光・イベント案内などの観光物産館の機能を併せ持った観光客の満足度の高い施設にしたいです。</p>
46	その他	<p>○絆のあるまちづくり(人とのつながり、ふれあい、支え合い、助け合い)</p> <p>○安心して暮らせるまちづくり(安心、安全、防災、防犯)</p> <p>○みんなで関わるまちづくり(住自協、各町の役割、住民の関わり方)</p>
47	その他	<p>多くの若者が魅力を感じ、残りたいと思える都市づくりを進めていく必要がある。</p> <p>多くの未来ある若者が長野市に魅力を感じ、将来に希望をもってもらえるよう、若者の雇用の場をつくり、大型商業施設の誘致を進めるなど若者のふるさと回帰、人口増へと繋がる施策、土地利用を進め、閉塞感を打破し、老若男女が暮らしやすい地域を目指すべきと考える。</p> <p>地域コミュニティのつながり等地域の絆は持ちつつも、しがらみから脱却し、斬新で大胆な事業、土地利用を推進していくことが10年後の長野市を魅力あふれる都市に脱皮させ、若者にとっても、高齢者にとっても住みやすいまちに変えていくことと考える。</p>
48	その他	<p>中山間地区に10年、20年持続できる希望を与えられるかどうか。それともプロトタイプなコンパクトシティなどで平坦地に移住することに依らざるをえなくなるのか。「10年後の長野市」を展望したとき、中山間地も共存持続可能な萌芽がいくらかなりとも感じられる施策が見出されればと期待する。</p>
49	その他	<p>現役を引退した人を中心に、地域に潜在する様々な人材・能力を発掘し、地域力の維持・活性化に役立てる仕組みを作ることです。</p>
50	その他	<p>○大都市からの移住、外国人の移住を積極的に推し進める。そのための受入準備(土地、家)を図る。</p> <p>○外国人受入のため日本語学校を設立し、日本語を早く習得してもらおう。</p> <p>○企業受入れの土地が少ないため29年度の土地見直しと共にそれぞれの地域に工業団地になる様な土地を確保する。</p> <p>○医療費を削減していくには在宅介護しかないのでホームヘルパーの増員、在宅介護する人への援助(補助金)が必要である。</p> <p>○子育て支援する高校まで無償化、大学奨学金は長野へ就職する人は返済なしとする。</p> <p>○各地域に新たな婚活支援組織をつくり、未婚の減少を図る。</p>
51	その他	<p>少子・高齢化が進み、地域内に後継者がいない家庭が大半をしめる状態が続いている。</p> <p>この傾向が進むとすれば、10年後の長野市や自分の姿、周囲に悲観的にならざるを得ない。</p>

番号	分野	内容
52	その他	<p>長野市の中山間地域の農林業は、担い手の減少と高齢化、耕作放棄地の増加、有害鳥獣による被害、生産物の価格低迷などの課題があるが、今後10年以上にわたり適切な「農林業の振興ビジョン」を定めることで、自然環境が保全され災害の発生を抑制し、豊かな自然と日本の原風景を維持することにより、市民にとって信州が誇る「こころのふるさと」としての機能を果たすことが長野市としてすべきであると思う。</p> <p>また、長野のシンボル善光寺は、地域の人々の手で「世界遺産」に登録され将来は日本国内だけでなく、世界でも広く知られ、愛される寺になっていることを望みます。</p>
53	その他	<p>“異文化”を持った住民が全員“顔見知り”で常に挨拶が交わせる町作りを目指す。</p> <p>異文化を互いに認め合い融合させる地域文化に合致した“ダイバーシティ(多様性)”の促進</p> <p>長野市が今やるべき事は「住民の、住民による、住民の為のグランドデザイン」を作る事である。</p>

包括連携協定高等教育機関連携協議会との懇談会について

1 募集方法

包括連携協定を結ぶ4高等教育機関(信州大学、長野工業高等専門学校、長野県短期大学、清泉女学院大学・清泉女学院短期大学)へ郵送により趣旨を説明し、各高等教育機関の連携協議会の出席者等から提案を募集したもの

2 募集期間

平成27年6月22日から7月24日まで

3 提案件数

14提案(上記4団体)

4 提案内容(抜粋)

番号	提案タイトル・分野	内容
1	人口減少対策 【行政経営】	<p>移住等外からの流入は、コストの割に大きく期待は出来ない。今いる人の流出の食い止め生涯定着に重点を置く。当たり前前に仕事に就けて、結婚、子育てと普通の生活が出来るパターンを応援する仕組み作りが大事。</p> <p>今の若い女性は、収入が少なく、加重労働で疲弊し、経済的にも精神的にも結婚する機会を持ってない人が少なくない。また同様にシングルマザーの増加も人口減少要因となる。</p> <p>対応案</p> <p>① 安定した就業先の確保(メーカー等の企業誘致を含む) 商業観光都市である長野市の場合、商業・サービス業への若い人の就業が多いことから、正社員等安定した雇用に結びつかないケースもあると思われる。</p> <p>② 希望者への結婚の推進(きめ細かな個別のマッチングシステムによるサポート体制整備)</p> <p>③ 子育ての支援(預かり施設の充実、2人目以上の子供への補助充実)</p>
2	【行政経営】	人口減少対策で結婚、地元居住を促進する取組み。
3	【環境】	<p>省電力で太陽光発電の推進が目標になっていますが、太陽光パネルは自然景観や田園風景、居住環境を壊すこと、電力単価も高いなどの負の面も指摘されています。</p> <p>省エネルギーだけの視点での目標設定の見直しが必要と思われます。</p>
4	【環境】	<p>一般ごみの生ごみ排出量抑制に関連し、新潟県上越市のような可燃ごみと家庭生ごみの分別回収を導入し、家庭ごみのメタン発酵を実施してはいかがでしょうか。</p> <p>生ごみ処理施設と下水処理施設を隣接することで、生ごみ以外の可燃ゴミ発生抑制に成功しているようです。</p>
5	【環境】	<p>安全でおいしい水道供給に関連し、東京都のような高度浄水処理(オゾン処理、生物活性炭処理)の導入のご検討を提案いたします。オゾン処理はクリプトスポリジウム対策にも一定の効果があるとされております。</p>
6	高齢者が元気で暮らせるまちづくり 【教育・文化】	<p>高齢者が元気で暮らせるために、生きがいを見つけられる仕組みをつくる。生きがいの創造のほかに、地域社会活動(自治会の担い手、地域づくり、公共交通維持支援)の指導者育成を図る。</p> <p>育成機関として生涯学習(高齢者)大学校等をつくる。</p> <p>修業年数は1～2年ほど、地域活動部(自治会、地域づくり、公共交通維持支援)の担い手、NPO法人立ち上げ等)、園芸・陶芸コース等を開設する。</p> <p>中心市街地の空家に各講座を設け、まちなかを歩いて移送できるようにすることで少しでもまちの賑わいに貢献する。</p>

番号	提案タイトル・分野	内容
7	次世代を担う若者の国際感覚の伸長 【教育・文化】	<p>長野市が「活力あるまち」として、未来に輝き続けるために欠くことができないものは次世代を担う若年層の存在です。</p> <p>また、地方都市にとって「まちの国際化」は、将来の生き残りをかけた取組みとして重要な要素です。</p> <p>これらを踏まえた視点に立つと、次世代の担い手が「国際感覚」をしっかり修得し、地元に着用することが重要であり、その第1歩が自ら眼で見、肌で感じることです。</p> <p>したがって、より多くの若者が直に国際感覚を身につけるため、海外研修を希望する若者への幅広い支援や、長野市を訪問する留学生が安心して学業に専念でき日本の若者と親密な交流ができる環境づくりが、一層必要となるのではないのでしょうか。</p>
8	幼児教育 【教育・文化】	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育の充実 「子どもを預かる」「保育サービス」から「豊かな人生を歩める子どもを育てること」「子どもとともに親育ち」を目標とした幼稚園・保育所・子ども園等の総合的な幼児教育体制の充実。 また、子どもの頃から自然に触れる機会を持たせることにより郷土愛を育成、故郷に残るあるいは戻るような幼児からの教育環境の整備。 ・保育・保育者の質の向上 保育の質、保育者の資質向上に関する質的研究や実践等に対する構築や奨励。 ・より良い保育を受けるための援助 保育料の保護者負担の軽減。より質の高い保育実践に対する奨励。社会的援助の充実。
9	生涯学習 【教育・文化】	<p>学習したものを役立たせる高齢者の活躍の場の実現。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① シルバー人材センターの名称変更及び充実 ② 体を使う技術・技能講習の充実と仕事の紹介体制整備
10	学生への支援 【教育・文化】	<p>上記1の人口減少対策及び学生の地元残存率を高めるための有効策として、学生への資金的サポートの充実が重要。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域からの流失を防ぐため、地元大学等を卒業して長野市に居住、地元企業に就職する学生への授業料補助制度の整備 ② 更に地元大学に残す方策の1つとして通学交通費の補助制度の整備
11	【教育・文化】	<p>教育学部や工学部とも連携して地元進学率の向上や課外授業での出前講座などの連携を進めていく。</p>
12	【教育・文化】	<p>元出身高から信州大学、長野市に就職した場合の地元企業のファンドから奨学金支援</p>
13	【産業・経済】	<p>善光寺依存の観光施策からの脱却(周辺の山・自然をメインとした観光都市作り)。</p>
14	ネットワーク型コンパクトシティ(連携・集約型都市)の形成を目指す。 【都市整備】	<p>居住地を誘導する区域と都市機能を誘導する区域を将来の人口規模を見据えて集約する方向で設定し、土地利用の適正化を図る。</p> <p>鉄道駅および、ある程度都市機能が集積しているバス停を拠点として整備を重点的に行い、都市のコンパクト化を図る。コンパクト化を推進するため拠点を集約することも考えられる。</p> <p>拠点間における機能連携・補完、他圏域との広域的連携のための軸を形成・強化することで「ネットワーク化」(連携)を促進する。公共交通ネットワークと土地利用を一体とした都市構造を構築することで人口規模や都市活動に見合った都市を形成する。</p> <p>長野市の南北・東西軸を基幹それを結ぶ支線との連結を強化した公共交通ネットワークの形成をはかる。</p> <p>中心市街地の歩行者優先化を進め、歩いて暮らせるまちづくりを推進する。</p>

ふるさとNAGANO応援団からの「将来の長野市の姿」提案募集について

1 募集方法

ふるさとNAGANO応援団メンバー(36名)に対し、「第四次長野市総合計画 後期基本計画 概要版」及び総合計画の基本施策に関する「アンケート指標(市民が思う割合)」(行政施策の満足度)に関する平成26年度 まちづくりアンケート報告書の抜粋を郵送により示し、高度な専門知識・豊かな経験に基づく提案・意見を求めたもの

2 募集期間

平成27年7月15日から8月7日まで

3 提案件数

13提案(3人)

4 提案内容(抜粋)

番号	提案タイトル・分野	内容
1	グローバルな人脈ネットワークの形成 【行政経営】	長野市出身者だけでなく、住んだことのある人で長野市を愛する人の輪、特にグローバルな人脈形成を推進すべき。そのような人脈を通じて長野市の発信を強化したらどうか。 SNSなどを通じた継続的な情報交換の場の設定やグローバルな企画の設定により長野市人脈のコミュニティの輪を強化していくことが重要(あらゆるジャンルで)。
2	子育て世帯への支援について 【保健・福祉】	「子育て世帯臨時特例給付金」のような一時的なものではなく、費用対効果等を考えながら継続的に支援をしていく施策を行うべきである。
3	「母親が仕事をしているのが当然」という立場でのシステム構築(少子化対策) 【保健・福祉】	少子化対策は、まずは、親に安心して子供を産んでもらうこと。特に、働く女性に、母親になった際に、働き続けるか、どうかの選択を迫るような環境は避けるべきです。保育園の整備は、待機がない状態にきちんとされたそうですが、子供が急に熱を出した時のお母さんを助けるシステムを整えることが必要ではないでしょうか。 また、小学校児童が放課後をきちんと過ごせるようなシステムにおいて、放課後児童支援員の養成、待遇の改善はどうなのでしょう？ 専門的な支援員を配置して、放課後のシステムに入っていてよかったと思われるところまでお願いしたいところです。
4	豊かな環境の維持 【環境】	地域の文化を絶やさずに将来に向かっていく、その真面目さを将来の発展にどう生かして行けるかが重要なポイントであろう。 手っ取り早くは企業誘致なのであろうが、長野市は日本の他の地域に比べて、何か優れたものがある訳でもない。 豊かな自然、水、空気、このような環境の中でそこそこ生きていければ、地域が大きく発展しなくても、そこに住む人々は幸せであろう。 無理をすれば必ず反対のことも起きる、大きく変えて行こうとは考えずに自然の流れに乗って行くのが良いのではないだろうか。

番号	提案タイトル・分野	内容
5	甲信越・北陸エリアの ハブ機能としての役割 を徹底化 【産業・経済】	<p>長野市という限られたエリアの観点だけでは、全国、世界の競争に勝っていけない。甲信越・北陸エリアは世界的にも優れた魅力が揃っている。パッケージ商品を提示するなど、その魅力あるものを取り込んだハブ機能としての長野市を充実していくべきである。徹底したハブ機能で存在感を出しているシンガポールが参考になる。</p> <p>東京への張出しも意識し、東京へ来た人たちを長野市経由の魅力あるパッケージにのせてしまったらどうだろう。今、注目の外国人観光客もこのパッケージにのせることも可能である(このためにはインターネット注文の充実も必要)。</p> <p>現代の風潮として、女性の心をつかむことができれば、おのずと長野が有名となり、訪れる人も多くなり、輝きを取り戻せると期待できる。</p> <p>ハブ機能を実現するためには以下の環境の整備は必須である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○通信・情報、交通、サービス等のインフラの充実 ○お客様目線のサービス機能の充実(多言語対応も含む)※女性、高齢者がキーワード ○ハブ機能を充実させるための企画力、人材育成
6	東京(首都圏)の張り出し的発想での誘客企画 【産業・経済】	<p>東京との時間的近さ、長野の魅力的資源との組合せで、東京主催の長野ロケーション開催という企画を多用できないか。</p> <p>宿泊、会議の後のレジャーを考えれば、長野市周辺の方がはるかに魅力的。都内でも移動に1～2時間はかかる。このためには移動等に伴う不便さを解消しワンパッケージでできる便利さが必須。金曜の夕方からでも気軽に遊びに行くことのできる長野市をアピールすることも良いPR。思ったよりも長野市は近い、ということがあまり知られていない。</p> <p>○イベント：セミナー、コンサート、国際競技等々の開催 (ポイント)交通の便利さ、宿泊、アメニティとの連携、長野の資源を最大限に利用、サービスなどのソフト面の強化。</p> <p>○夏季講習：大学(信州大学、長野大学等)とのタイアップ、生涯教育など高齢者への門戸開放⇒温泉、トレッキング、自然との触れ合い、観光地、避暑地としての効果、夜のイベントなどの付加価値との組合せ。</p> <p>(ポイント)交通網、プランの充実、場合によっては、東京と繋いだテレビ会議。地域的特徴のあるショッピング</p>
7	企業の体系的支援と首都圏からの企業誘致 【産業・経済】	<p>長野市には、中小企業ではあるがグローバル・ユーザを対象とした部品等を生産している企業が多くある。それらの企業への体系的な支援が必須である。地元大学との産学協調を強化する必要もある。</p> <p>また、通信・情報インフラ、交通網等のインフラ整備で首都圏の企業を優遇条件で誘致し、首都圏との近さを最大限活用すべきである。</p>
8	善光寺の魅力に頼りきれない長野の魅力の創出 【産業・経済】	<p>善光寺の素材、そのものに頼るだけでなく、付加価値をつけていくのが歴史的役割と考える。夏の盆踊り、7年に1回の御開帳頼みではさびしい。</p> <p>現在から始めて将来に向けて発信できる企画なり対象を作るべきである。年齢別(若者が重要)、男女別、対象地域別など、いろいろな層で魅力を検討すべき。</p> <p>軽井沢に集まる人を如何に長野市まで引き寄せられるか、長野県以外の地域の人を如何に長野市に引き寄せられるか、アジア地域の人を如何に長野市に引き寄せられるか。</p> <p>長野市に閉じた魅力ではなく、長野市を中心とした広域での相乗効果で魅力を出す。⇒交通インフラ、情報インフラ、サービスインフラ等の整備は必須。</p> <p>長野市のオリンピック施設の積極的な活用。</p>

番号	提案タイトル・分野	内容
9	<p>中心市街地に善光寺以外の観光の目玉を【産業・経済】</p>	<p>善光寺参拝の後、短時間で観光できる場所を作ってほしいと思います。これは、タクシーの運転手に「善光寺参りのあと2時間どこかへ行きたい、と言われるんだけど、困る」とよく言われます。戸隠のような高原か、松代かということでは、時間的に無理です。中心市街地に目玉があると良いのですが。</p> <p>これは、中心市街地の整備問題でもありますが。市内には、優れた博物館、美術館などがあるので、その展示ブースのようなものが集まった所があったらと思います。</p>
10	<p>長野駅構内での案内について【産業・経済】</p>	<p>長野駅構内の観光案内所の職員の方は、真面目に仕事をされています。しかしJR関係の窓口・時刻案内などの業務と連携をされているのでしょうか。案内所の職員の方が、駅構内を巡回する制度があってもよいのではないのでしょうか。観光案内所の腕章をつけて、観光客の手助けをするというシステムはどうでしょう。しゃれたユニフォームを着て駅構内を巡回し、駅の(長野の)人気ものになる位のつもりでやってほしいです。</p>
11	<p>バスの案内について【都市基盤・土地利用】</p>	<p>バスなどの公共交通機関についての難しい問題は理解しているつもりです。ともかく、利用者あってのものです。バス路線・バス時刻表の主なものは、「広報ながの」に載せてもいいのではないのでしょうか。また、長野駅の構内にも、大きな見やすい路線図、時刻表がほしいです。</p> <p>また、善光寺行きのバスについては、新幹線改札口から、バス亭まで、特別な色(金色)のラインが描いてあってもよいと思います。今でも、長野駅構内で「善光寺へ行くのはどう行ったらいいですか？」と観光客に聞かれます。すべての人が観光案内所に来るわけではありません。観光客の視線でのシステムもほしいです。</p>
12	<p>WiFi環境整備について【都市基盤・土地利用】</p>	<p>長野市内(少なくとも長野駅から善光寺までの一帯)を無料のWiFiが使えるようにしたらどうでしょう。</p> <p>パリなどヨーロッパの市ではそういう所がどんどん増えています。日本の観光地は遅れているようです。これは、住民は必要性を感じないでしょうが、旅行者は、いちいちWiFiのあるカフェに入っている状況なので、これを解消してどこでも自由につながるようにしてほしいのです。「ネット環境の充実している長野で仕事をしよう」という人も増えるのではないのでしょうか。</p>
13	<p>ながの市議会だよりについて【その他】</p>	<p>「市議会だより」で、第5次総合計画策定に関する議員の質問に対し、市長は「ハードからソフトへの転換を図る」と答えられています。紙面の制約でしょうが、具体的な方策が書いてありません。このあたりがないと「市議会だよりは、つまらない」という印象を与えてしまいます。</p> <p>この市議会だよりは、議員・市職員以外の、何人の市民がきちんと読むとお考えでしょうか。ここで、市長が、自分としてのご見解を書いていただけますと、親しみも持てますし、読み応えもあると思うのです。せっかくの発行です。どうか「日本で一番読まれる市議会だより」を作るつもりで挑戦して下さい。</p>